

ELYTRA

The Journal of
the Japanese Society of Coleopterology



Vol. 6 No. 1
(Aug. 1978)

日本鞘翅目学会

投稿規定

1. 日本鞘翅目学会々員は会誌 ELYTRA に投稿できる。
2. 投稿内容は甲虫に関連したものに限る。
3. 投稿の掲載可否および掲載時期については編集局の合議による。
4. 原稿分量は、原則として1号1篇あたり刷上がり16頁までとし、それ以上のものは2回以上に分ける。
5. 和文の原稿は横書き、原則として現代かなづかいを用いる。
6. 原著に関しては欧文表題を付すこと。
7. 欧文の原稿には和文表題を付すこと。
8. 原著には Summary (要約) を付すことが望ましい。
9. ELYTRA に掲載される原著論文は、本会の審査委員会による審査を受け、受理されたものでなければならない。
10. 印刷代著者負担の原稿は、上記審査委員会で受理されれば、指定の号に掲載することができ、また、ページ数の制限をうけない。
(主に和文の原稿：1ページにつき ¥ 5,500, 主に英文の原稿：1ページにつき ¥ 7,500)
11. 和文の原稿では、種名は和名を主とし、学名は必要最小限にとどめる。
12. 新種および日本未記録種の記載については、必ず標本写真(原記載の場合は holotype に限る)あるいは写真に代わりうる図を付し、それらから種の特徴が判別不可能な場合には、別に図版でもってこれを補うことが望ましい。
13. 動植物の学名は、*Necydalis major* LINNÉ のように命名者は全記すること。ただし、同文中で重複する場合は省略してかまわない。
14. 文献は本文の終わりに一括して記すことが望ましい。雑誌名および巻号は省略体でよい。
(例) Ent. Rev. Japan 19, p.5~34, 1967
15. 活字の指定および校正是編集局に一任されたい。ただし、原著に関しては、初校は著者校正とする。
16. 別刷は原著に限って作成(50部以上)し、50部までは実費の半額を当会が負担、それ以上は著者の全額負担とする。(送料著者負担)
17. 掲載済の原稿は返却しない。ただし、原図・写真は希望があれば返却する。
18. 原稿の送付先は、当分の間、下記宛とする。
〒110 東京都台東区台東2-29-6 藤田 宏方, 日本鞘翅目学会編集局

〔投稿に関する注意事項〕

- a. 和文は「～である」調を用いる。ただし、会話文はこれに当てはまらない。
- b. 欧文原稿は1行60字内外にタイプする。
- c. 未記録種の投稿に際しては、それが未記録であると考えた理由を明記することが望ましい。
- d. 分類の紛らわしい種の記録を行なう場合は標本写真を付すことが望ましい。なお、本会誌に用いるための標本写真撮影は当会にても行なうので、希望者は事務局宛に連絡されたい。(1号につき4点までは無料、それ以上は実費を請求する。)
- e. 写真および図版は出来上り予定寸法の1.5倍程度に製作するとよい。
- f. 採集データ(和文)は次のように略記すればよい。
5♂♂1♀, 群馬県武尊山, 16.VII.1970, 衣笠恵士採集
- g. 原稿は編集局により一部変更されることがあるが、変更箇所が内容に及ぶ場合はあらかじめ著者の了解を求める。また、不備な原稿は書き直しを要求することもある。
- h. 原著論文の著者校正において、校正中の追加・変更は一切認めないので、完全原稿を旨とすること。
- i. 別刷の表紙を希望の際は、あらかじめ希望別刷数と共にその旨を原稿に朱記すること。表紙代(実費)は著者負担。

クロヘリツヤコメツキについて

大平 仁 夫

Notes on *Chiagosinus delauneyi fuscomarginatus* (LEWIS, 1896) (Coleoptera: Elateridae)

By Hitoo ŌHIRA

(National Institute for Physiological Sciences, Okazaki, Aichi 444)

(Received Feb. 18, 1978 Accepted Mar. 30, 1978)

本種は、最初 G. LEWIS (1896) により奄美大島から FERRIÉ 氏が採集した標本にもとづいて *Aphanobius fuscomarginatus* という学名を付して新種の記載がなされたものであるが、その後、MIWA (1934) は本種を *Agonischius obscuripes* (GYLLENHAL, 1817) の 1 変種として扱い、分布に沖縄本島と台湾を追加した。また、中根(1963)は、この種を *Agonischius obscuripes* の亜種として、和名にミスジナガコメツキを用いて図示している。その他、ŌHIRA (1968) は、この種は FLEUTIAUX (1887) が Annam の Hué から新種として記載した *Agonischius delauneyi* の亜種になるとして、現在では *Chiagosinus delauneyi fuscomarginatus* (*Chiagosinus* 属への変更は FLEUTIAUX (1939) によってなされている) として扱っている。そして、分布も奄美大島、沖縄本島、石垣島、西表島、与那国島など、奄美大島以南の各島に広く分布していることが判明しているし、本種については MIWA (1934) を始め、いくつかの図示もあるので、コメツキムシの仲間としては、比較的良好に知られている。

一方、Corea の南部地方にもこれによく似た種が分布していて、KOLBE (1886) は

Agonischius subsericeus という学名を付して新種の記載をし、そのすぐのち、HEYDEN (1887) は *Agonischius vittiger* という学名を付して同属の別種を記載している。そして、現在ではこれら両種は *Chiagosinus obscuripes* の 1 変種として扱われている。

A. subsericeus という種については実態がよくつかめなかったが、HEYDEN (1887) の *A. vittiger* については Corea 産の数頭の標本を検査することができた。

Corea 産の *vittiger* と琉球産の *fuscomarginatus* は図示 (Fig. 1, B, C) したようにきわめてよく似ており、Corea 産のものは一般に小形(雄では体長 8 mm 内外なので、HEYDEN の原記載の 11 mm というのは雌個体と思われる)で、翅鞘は一般に第5~6間室あたりから黒色をしており、会合線部はわずかに黒色である。また、雄の触角は短く、末端は前胸背板の後縁角よりやや後方に突出する程度で、前胸背板の後縁角は後方に鋭く突出する。雄交尾器の中央片の末端部はくびれなく、外葉片の外縁角はやや外方に突出する。

琉球産の *fuscomarginatus* はより大形で、雄では一般に体長 9 mm 内外で、雌ではときに体長 15 mm に達するもの

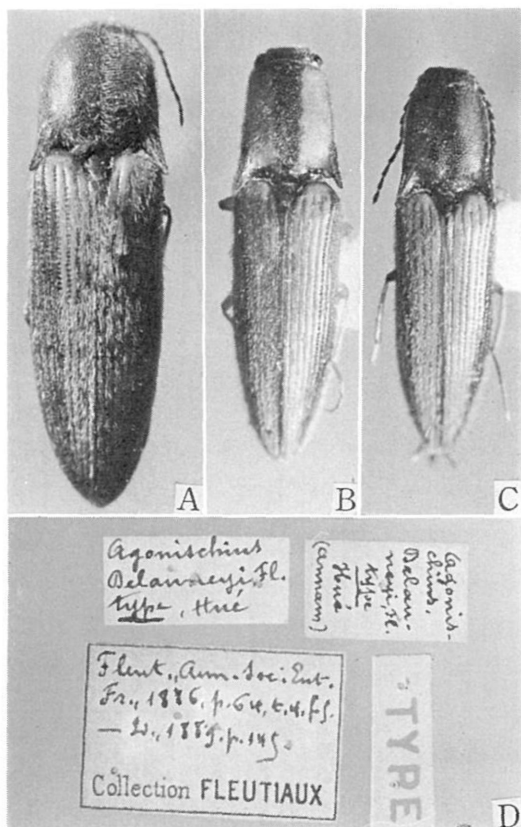


Fig. 1 A, D: Holotype of *A. delauneyi* (female) and labels; B: *A. fuscomarginatus* (male) from Ryukyu Is. (Ishigaki-jima, 26-IV, 1976, H. SATOMI leg.); C: *A. vittiger* (male) from Corea (Mt. Chiri-san, 6-VIII, 1974, Y. ARITA leg.).

もいる。翅鞘は黒色化の傾向がみられ、一般に会合線部は暗色化が強い。雄の触角はより細長く、末端部は前胸背板の後縁角より末端1節かそれ以上後方に伸長する。また、前胸背板の後縁角はより外方に鋭く突出する。雄交尾器の中央片の末端部はややくびれて突出し、外葉片の末端部はより幅広くて切断状である。しかし、これら両種は別種にするほどの分化はないものと思われ、筆者は、地理的に隔離されて分化した亜種ではないかと判断するものである。

一方、印度支那地方に広く分布している *A. delauneyi* との関係は、筆者は Annam 産の正模式標本を借用して調べたが、それは第1図、AとDに示したように体長11.5mm（原記載は12mm）の雌個体であった。一般外形は、琉球産のものにきわめてよく似ているが、前胸背板はより短大で、翅鞘の両側は後方に顕著に細まる。また、触角は短小で、第3節は短小で第4節とはほぼ等長である。また、前胸腹板突起は、前脚基節腔の所でやや内方に湾曲することなく、後方に直線状に伸長するなどの特徴がみられる。

以上のことから、琉球産のものは *delauneyi* とは別種であると判断される。したがって、学名を整理すると次のようになる。

Chiagosinus vittiger fuscomarginatus (LEWIS, 1896) クロヘリツヤコメツキ
分布：琉球，台湾(?)

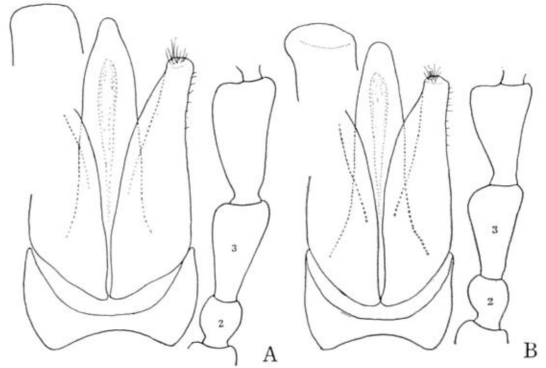


Fig. 2 Aedeagi and some basal segments of male antennae of *A. fuscomarginatus* (Okinawa-honto) (A) and *A. vittiger* (Corea) (B).

Chiagosinus vittiger vittiger (HEYDEN, 1887)

シマホソコメツキ

分布：朝鮮

なお、KOLBE(1886)がCoreaから新種として記載した *A. subsericeus* と G. LEWIS (1894) が鹿児島から記録した *A. obscuripes* については、標本が得られたのちに、再度学名の検討をしたいと思う。なお、*A. obscuripes* の分布は広いが、個体変異は限られており、筆者は琉球以北には分布する可能性がうすいと思っている。

引用文献

FLEUTIAUX, E. (1887), Descriptions de Coléoptères Nouveaux de L'Annam. Ann. Soc. ent. France: 59-68, 1 pl.
— (1939), Les Élatérides de L'Indo-Chine Française. Ann. Soc. ent. France, CVIII: 121-147.
HEYDEN, L. Von (1887), Verzeichniss der von Herrn Otto Herz auf der Chinesichern Halbinsel Korea Gesammelten Coleopteren. Horae Soc. ent. Ross., XVI: 243-273.
KOLBE, H.T. (1886), Beiträge zur Kenntniss der Coleopteren Fauna Koreas. Arch. Naturgesche: 139-240.
LEWIS, G. (1894), On the Elateridae of Japan. Ann. Mag. nat. Hist., (6) XIII: 311-320.
— (1896), On the new species of Coleoptera from Japan, and Notes of others. Ann. Mag. nat. Hist., (6) XVII: 329-343.
MIWA, Y. (1934), The fauna of Elateridae in the Japanese Empire. Dep. Agr., Gov. Res. Inst. Formosa, 65: 1-289, 9 pls.
三輪勇四郎 (1935), 奄美群島の甲虫類, 関西昆虫学会々報, 6: 11-30, 2 pls.
中根猛彦他 (1963), 原色昆虫大図鑑, II (甲虫篇): 1-443 (北隆館).

Summary

Through the courtesy of Dr. A. VILLERS, Muséum National d'Histoire Naturelle, I have had an opportunity to examine the type-specimen of *Agonischius delauneyi* FLEUTIAUX, 1887 from Annam. The true systematic position of this species from the Ryukyus is obtained from this study.

***Chiagosinus vittiger vittiger* (HEYDEN, 1887), comb. nov. and status nov.**

Agonischius vittiger HEYDEN, 1887, Horae Soc. ent. Ross., 21: 267 (Korea).

Agonischius vitticollis MIWA, 1927, Ins. Mats., 2(1): 18, pl. 1, f. 12 (Corea, Loo-Choo).

Agonischius obscuripes (GYLLENHAL, 1817), var. *vittiger*: MIWA, 1934, Fauna Elat. Japan: 169 (Corea).

Distribution: Corea.

***Chiagosinus vittiger fuscomarginatus* (LEWIS, 1896), comb. nov. and status nov.**

Aphanobius fuscomarginatus LEWIS, 1896, Ann. Mag. nat. Hist., (6) 17: 337 (Oshima).

Agonischius obscuripes GYLLENHAL, var. *fuscomarginatus*: MIWA, 1934, Fauna Elat. Japan: 236, 262, pl. 7, f. 2 (Formosa and Loo-Choo).

Chiagosinus obscuripes (GYLLENHAL, 1817), f. *fuscomarginatus*: CHŪJO, 1959, Mem. Fac. Lib.-Arts. Educ., Kagawa Univ., (2) 69: 5 (Nago).

Agonischius obscuripes fuscomarginatus: NAKANE, 1963, Iconogr. Ins. Japonicorum., Color naturali edita, II (Coleoptera): 165, pl. 83, f. 8 (Kyushu, Ryukyus, Corea, Formosa, China, SE. Asia, Caucasus).

Chiagosinus delauneyi fuscomarginatus: ŌHIRA, 1968, Bull. Aichi Univ. Educ., 17 (Nat. Sci.): 124, figs. 20, 21 (Amami-Oshima, Okinawa, Formosa).

Distribution: Ryukyus (Amami-Oshima, Okinawa-honto, Ishigaki-jima, Iriomote-jima), Taiwan?

1951年以降の台湾産カミキリの文献(3)

草間 慶一

1960 (つづき)

- 18) BREUNING, S. "Nupserha revision of Asiatic species"
Bull. Inst. Sci. nat. Belg., 36(10): 1-62
ssp. nov., *Nupserha clypealis formosana*, p. 19
- 19) BREUNING, S. "Nouvelles formes de Lamiaires (Douzieme partie)"
Bull. Inst. Sci. nat. Belg., 36(7): 1-30, 4 figs.
m. nov., *Obereopsis maculithorax*, m. *fuscithorax*, p. 22
- 20) BREUNING, S. "Neue Lamiden aus dem Staatlichen Museum für Tierkunde in Dresden"
Abh. Mus. Tierk. Dresden (Ent), 25: 3-16, 17 figs.
sp. nov., *Serixia (Serixia) formosana*, p. 13

- ssp. nov., *Glenea (Glenea) relicta formosensis*, p. 15
- ②1) CHANG, S-C. "New and Unrecord Species of Longicorn Beetles from Taiwan, 1"
 Bull. Soc. Plant Pathology and Entomology, **11**(3/4): 1-7, 2 pls.
 sp. nov., *Epiclytus taiwanus*, p. 1, pl. I, fig. 1
 sp. nov., *Anoplophora wusheana*, p. 2, pl. I, fig. 2
 new record, *Cataphrodisium rubripenne* (HOPE), p. 3, pl. II, fig. 3
 new record, *Tetraclytus plavilstshikovi* ZAITZEV, p. 4, pl. II, fig. 4
 new record, *Hirakura rufostylata* HAYASHI, p. 5, pl. II, fig. 5
- ②2) HAYASHI, M. "Study of the Lepturinae" Niponius, **1**(6): 1-26
 gen. nov., *Formosotoxotus*, p. 1 (type, *Artelida asiatica* MATSUSHITA)
 gen. nov., *Sinostrangalia*, p. 13 (type, *Strangalia* (s. str.) *yamasakii* var. *ikedai* MITONO et TAMANUKI)
 gen. nov., *Metastrangalis*, p. 16 (type, *Eustrangalis albicornis* TAMAN.)
 comb. nov., *Formosotoxotus auripilosus* (KANO) (*Toxotus*), p. 2
 syn. nov., *Paranthophylax asiaticus*, GR. '51→*F. auripilosus*, p. 2
 comb. nov., *Pseudallosterna pullata* (MATSUSHITA) (*Anoplodera*), p. 7
 comb. nov., *P. binotata* (GRESSITT) (*Anoplodera*), p. 8
 comb. nov., *P. breva* (GRESST) (*Anoplodera*), p. 8, fig. 5
 emend. nov., *Anoploderomorpha izumii* (MITONO et TAMANUKI) (*Anoplodera cyanea izumii*),
 p. 11, fig. 11
 gen. nov., *Tamanukia*, p. 9 (type, *Anoplodera? tricolor* GRESSITT) (see HAYASHI, 1966)
 comb. nov., *T. tricolor* (GRESSITT), p. 9
 emend. et comb. nov., *Sinostrangalis ikedai* (MITONO et TAMANUKI) (*Strangalia (Parastrangalis)*
yamasakii), p. 14
 comb. nov., *S. yamasakii* (MITONO) (*Strangalia (Parastrangalis)*), p. 15
 comb. nov., *Metastrangalis albicornis* (TAMANUKI) (*Eustrangalis*), p. 16
 comb. nov., *M. ochraceoventra* (GRESSITT) (*Strangalia*), p. 16
 comb. nov., *Pygostrangalia angustissima* (GRESSITT) (*Strangalia*), p. 19
 syn. nov., *Strangalia (Strangalomorpha) yanoi* (TAMANUKI)→*P. angustissima*
 comb. nov., *Pygostrangalia vittatipennis* (PIC) (*Strangalia*), p. 21
 comb. nov., *P. chujoi* (MITONO) (*Strangalia* (s. str.)), p. 21
 sp. nov., *Leptostrangalia nakamurai*, p. 17, fig. 17
 comb. nov., *Formosopyrohona hozamensis* (MATSUSHITA) (*Pyrocalymma*) p. 23
- ②3) OHBAYASHI, K. "Studies of Longicornia (5)"
 Ent. Rev. Jap., **11**(1): 7-8
 comb. nov., *Japanostrangalia yamasakii* (MITONO) (*Strangalia*), p. 7
- 1961**
- ②4) BREUNING, S. "Catalogue des Lamiaires du Monde" 4 Lieferung (1 Jan. 1961)
 " " " 5 " (1 Oct. 1961)
 syn. nov., *Niphona minor* LAMEERE→*N. parallela* (WHITE)
 new record, *Pterolophia fainanensis* PIC
 syn. nov., *P. camura* NEWMAN→*P. bigibbera* NEWMAN
- ②5) BREUNING, S. "Nouvelles formes de LAMIAIRES (Treizieme partie)"
 Bull. Inst. Sci. nat. Belg., **37**(20): 1-44, 4 figs.
 m. nov., *Obereopsis kankauensis* m. *trimaculicollis*, p. 44

Occurrence of a New Species of the Genus *Yakuhananomia* KŌNO (Mordellidae) in Central Honshu, Japan

By Masatoshi TAKAKUWA

3-16-9 Mutsuura-chō, Kanazawa-ku, Yokohama City 236

阿武隈におけるヤクハナノミ属1新種の発見

高 桑 正 敏

(Received Mar. 3, 1978 Accepted Mar. 30, 1978)

In this paper, a new mordellid beetle, *Yakuhananomia tsuyukii* sp. nov. is described on the basis of six male specimens collected at Iwaki City in central Honshu of Japan. It is most unexpected that a second species of *Yakuhananomia* occurs in the Japanese Islands besides *yakui* (KŌNO), which has been known from Hokkaido and the Southern Japanese Alps. As will be discussed later, the type-series of this new species includes two forms showing different colour patterns of elytral pubescence.

Yakuhananomia tsuyukii sp. nov. (Figs. 1, 2)

(Japanese name: Iwaki-yaku-hananomi)

Male. Body black; spurs and apical parts of each sternite reddish brown; claws more or less brown; apices of front tibiae, bases and apices of 1st segments of front tarsi and each base and apex of 3rd to last segments of antennae more or less yellowish brown.

Head densely clothed with thin fuscous pubescence, except for base and tempora which are clothed with yellow hairs. Pronotum densely clothed with deep golden-yellow pubescence, except for three very large spots consisting of dark fuscous one, the central one of which is connected with lateral ones at the antero-lateral parts (in one specimen of the typical form, the pronotum is largely blackish except for yellowish basal and lateral areas. Scutellum clothed with pale-yellow pubescence. Elytra clothed with deep golden-yellow pubescence except for humeral parts which are either sparsely clothed with short deep golden-yellow hairs or partially bare, and bearing maculations of dark fuscous pubescence as follows: a pair of spots near base, a pre-median W-shaped pattern, a post median fascia and an apical fascia, all these maculations being connected by two or four stripes (though the stripes connecting the 1st with 2nd are very thin). Pygidium densely clothed with dark fuscous pubescence, except for the apical parts which are clothed with yellow hairs. Anal sternite densely clothed with deep yellow pubescence. Ventral surface excepting anal sternite clothed with pale-yellow pubescence, though darker pubescence exists on apico-median areas of 3rd and 4th segments. Hairs on legs pale-yellow, gradually becoming deeper in colour towards apices.

Head densely and finely punctate, moderately convex, and with a small but distinct concavity at pre-vertex; eyes somewhat oval, not bearing hairs; tempora broad. Last segment of maxillary palpus semi-securiform with roundness; outer margin about a half longer than inner one, inner margin a little longer than the apical. Antennae short; 4th to 10th segments serrate and gradually decreasing in length towards apex; 1st and 2nd shaped as a thick log, 3rd as club; 3rd the longest, nearly equal in length to 1st, about 1.5 times as long as 2nd, about 1.3 times as long as 4th; last segment

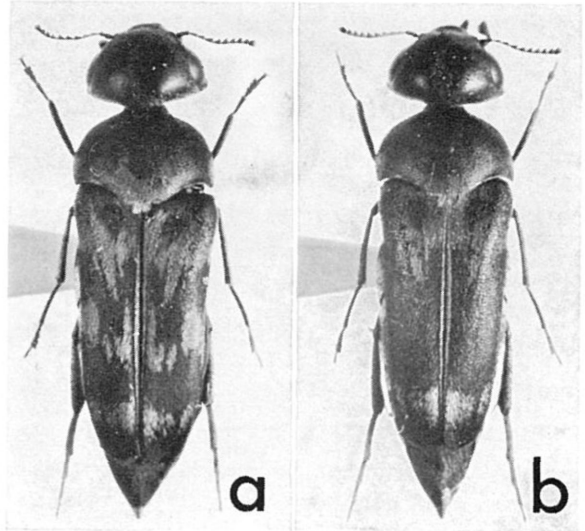


Fig. 1 *Yakuhananomia tsuyukii* sp. nov.
a: holotype b: black form

roundly oval, about 1.3 times as long as wide, a little shorter than 4th and about 1.6 times as long as 10th. Pronotum transverse, about 1.5 times as wide as long; surface densely and coarsely punctate; hind angles rounded; lateral margins arched in dorsal view, nearly straight in lateral view. Scutellum almost square, with hind angles slightly rounded. Elytra narrower than pronotum, about twice as long as wide, and narrowed posteriorly; surface punctured as follows: areas near base intricate, shoulders and the areas behind them evidently rugose, the other parts slightly or faintly rugose and covered with dense punctuations, each of which is more or less longitudinal; apex separately rounded. Pygidium very short, attenuated towards apex with slightly curving sides, almost equal in length to basal width, and somewhat longer than anal sternite, with an obtuse dorsal carina in apical half; apex narrowly truncated in dorsal view and vertically truncated in lateral view, the truncation in the latter view being about twice the length of that in the former; apex oval in cross section, more or less subsiding, and distinctly tuberculate at the upper central portion. Anal sternite narrowed posteriorly, and somewhat narrowly truncated at apex. Front tibia nearly straight in dorsal view, somewhat curved downwards in lateral view. Hind leg with only one comb just before apex of tibia; inner spur of hind tibia about 2.5 times as long as the outer one.

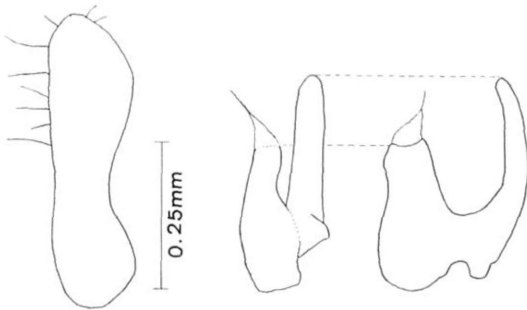


Fig. 2 Male genitalia of *Yakuhananomia tsuyukii* sp. nov.

Body length (incl. head and excl. pygidium): 7.2-7.8 mm. Elytron length: 4.5-4.8 mm.

Type-series. Holotype, ♂, Eda (about 300m

alt), Iwaki City, Fukushima Pref., Honshu, Japan, 6. VIII. 1977, S. TSUYUKI leg. (deposited in the Natn. Sci. Mus., Tokyo). Paratypes: 5♂♂, same locality as the holotype, 6-7. VIII. 1977, M. TAKAKUWA leg. (in Dr. T. NAKANE's and the author's collections)

Distribution. Iwaki Area (central Honshu)

Variation. Two different colour forms resulted from the difference in the pattern of elytral pubescence are recognized in the type-series, that is, the typical (4 specimens) and black forms (2 specimens). The latter is as follows: 1) pronotum almost wholly clothed with fuscous pubescence, only excepting basal and lateral margins, 2) elytra with a broad blackish fascia on the median area. This blackish specimens do not differ from the holotype in the male genitalia, nor in the external structures beside elytral coloration. Further, both these specimens were collected at the same locality. It is therefore clear that the two colour forms belong to the same species.

This new species is very similar to *Y. yakui* (KŌNO) from Sapporo of Hokkaido and the Akaishi Mountains of central Honshu, but can easily be distinguished from that species by the following characteristics: 1) head with a distinct concavity at pre-vertex and clothed with dark fuscous pubescence, 2) pronotum and elytra clothed with deep golden-yellow pubescence, 3) blackish spots on pronotum evidently larger, 4) blackish fascia at the post-median area of elytron clearly connected with apical one by stripes, 5) almost whole part of pygidium clothed with dark fuscous pubescence, 6) each abdominal segment without blackish spot at the apico-median area.

Acknowledgement

The author wishes to express his deep gratitude to Dr. Takehiko NAKANE and Dr. Yoshihiko KUROSAWA of the National Science Museum, Tokyo, for their continuous guidance on his study of mordellid beetles and to Dr. Shun-Ichi UÉNO of the same museum for his kindness in reading the manuscript of this paper. Thanks are also due to Mr. Shigeo TSUYUKI who first collected this new species, to Mr. Sadahiro OHMOMO who kindly guided us to that locality, and to Mr. Hirotaka MATSUKA for taking photographs inserted in this paper.

摘 要

福島県いわき産のハナノミ科ヤクハナノミ属の1新種 *Yakuhananomia tsuyukii* TAKAKUWA, sp. nov. (イワキヤクハナノミ) を記載した。日本近隣においては本属のものは北海道(札幌)および本州(南アルプス)から記録のあるヤクハナノミ *Y. yakui* (KŌNO), 1930 1種が知られていたのみで、本州の中央部からこの属のものが新たに発見されようとは思ってもみなかったことである。

本種はヤクハナノミに極似し、特に上翅の紋の出方は

まったくと言ってよいほど同一のパターンであるが、黒化は著しく、また微毛の色が異なることや頭頂前方に1つの陥没点が認められることから、区別することは難しくはない。

なお、本種は斑紋上から2つの型に分けられ、type-series 中には4頭の原型と2頭の黒化型が含まれている。黒化型は原型と同一地点で得られたこと、および♂ genitalia や斑紋以外の外部形態にまったく差が認められないことから、原型と同一の種類であることは明らかである。

「南西諸島におけるアトキリゴミムシ類の知見」の訂正

深町 宗通

筆者は先に、本誌 Vol. 2, No. 2, pp. 23-24 において、上記表題の報告を行ったが、その際、同報告中のアトキリゴミムシ類の種名の同定について若干の訂正を必要とするものを含んでいたため、ここに誤りを訂正しておく。

10. *Endynomena lewisii* BATES メダカアトキリゴミムシのうち、石垣島産を、*Endynomena* sp. メダカアトキリゴミムシに近似の1種に。

石垣島産の個体が徳之島以北の個体とかなり異なっていることはすでに述べたが、別種として扱った方がよいと思われる。なお、沖縄本島産の個体も石垣島産と同じものである。

16. *Lebia retrofasciata* MOTSCHULSKY ジュウジアトキリゴミムシを *Lebia* sp. ジュウジアトキリゴミムシ

シに近似の1種に。

日本未記録種である。台湾にも産する。

17. *Apristus grandis* ANDREWES スジミズアトキリゴミムシを *Apristus* sp. スジミズアトキリゴミムシに近似の1種に。

A. grandis に酷似するが別種である。

なお、2. の *Hexagonia* sp. クロモンヒラナガゴミムシに近似の1種は、同年4月に土生博士によって *H. cyclops* (MATSUMURA) ヒトツメヒラナガゴミムシとして発表された*)。

*) HABU, A. (1975): Carabidae taken from the Ryukyus, Japan, mainly by Mr. H. HASEGAWA during February and March in 1973 (Col: Carabidae). Trans. Shikoku Ent. Soc., 12(3/4): 1-19.

各地昆虫同好会誌・学会誌の取扱いを始めました

「COENONYMPHA」「Celastrina」「東北昆虫」「東北昆虫研究」「インセクト」「虫の国」「ルリボシ」「TERRITORY」「羽化」「三多摩虫界速報」「多摩虫」「甲虫ニュース」「ELYTRA」「神奈川虫報」「山梨の昆虫」「誘蛾灯」「AMICA」「とっくりばち」「まつむし」「長野蛾報」「駿河の昆虫」「佳香蝶」「ひらくら」「KINOKUNI」「CRUDE」「MDK news」「やどりが」「PARNASSIUS」「すかしば」「広島虫の会々報」「佐賀の昆虫」「MIKADO」「こがねむし」「SATSUMA」など、現在70タイトルの昆虫誌が、必要な号のみお買上げいただけます。更に毎月5タイトル位ずつ取扱いを増して行く予定です。

詳しい内容は小社リストをご請求下さい(年5~6回発行 毎号28頁)。

ご注文はハガキに署名捺印の上(18才未満は保護者印)ご注文下さい。直ちにお送りいたします。代金は到着後5日以内にご送金下さい。送料は2冊以上になると安くなります。又1回のご注文に¥200の書留料を加算いたします(但し前金不用)

お近くの方は小社(小田急経堂駅前)へ!
昆虫関係図書常時1,000タイトル以上在庫
定休:水曜・祝日/平日10~19時・日曜日13~17時
JCBカード加盟店 在庫リスト(3回分¥200)

昆虫洋書・地方図書は専門の小社へ
東京通販サービス社

〒156 東京・千歳郵便局私書箱33号
小田急経堂ビル12F 1221号
☎(03)426-6012 郵便振替 東京0-73, 156

**The Genus *Exocentrus* MULSANT of Japan and its Adjacent
Regions: (2) The Revision of Taiwanese Species**

By **Keiichi KUSAMA and Yoshiaki TAHIRA**

日本およびその近隣のアラゲケンカミキリ属：(2)台湾産種の総説
草間 慶一・多比良 嘉晃

(Received and Accepted Mar. 30, 1978)

Biological Institute, Faculty of Science, Shizuoka University, Oya 836, Shizuoka-city, 422.

GRESSITT (1951) listed 6 species of *Exocentrus* including 1 new species from Taiwan, in his monograph "Longicorn Beetles of China". In 1958, BREUNING published "Révision du Genre *Exocentrus* MULSANT", in which he classified 258 species of this genus into 10 subgenera. In regard to Taiwanese 6 species, he referred *brevisetosus* and *savioi* to subgenus *Exocentrus*, *immaculatus* and *rufithorax* to *Pseudocentrus*, *seriatomaculatus* to *Oligopsis*, and *variepennis* to his newly established subgenus *Formosexocentrus*, however, he could not actually examined the specimens of *brevisetosus*, *immaculatus* and *rufithorax*.

The present paper includes the descriptions of 6 new species and 1 new subspecies, the synopsis of 6 known species, the discussion of the taxonomic status of some species and a key to 13 Taiwanese members of this genus. All holotypes treated in this paper are deposited in the National Science Museum of Tokyo, and paratypes are in the authores' and the collectors' private collections.

Genus *Exocentrus* MULSANT

Species of *Exocentrus* in Taiwan have the following characters: head slightly broader than prothorax at anterior margin, but much narrower than broadest portion of prothorax which produced with lateral tubercles; each apex of elytron narrowly rounded; first hind tarsal joint subequal to following two united together in length, excepting *E. kentingensis*.

Subgenus *Bicolorihirtus* subgenus nov.

Antennal third segment equal to fourth. Elytra irregularly punctate. Antennae, prothorax, elytra and legs with two kinds of white hairs and black bristles or hairs.

Type species: *Exocentrus venatoides* sp. nov.

Exocentrus (Bicolorihirtus) venatoides sp. nov. (Fig. 1).

(Japanese name: Kumonosumon-keshi-kamikiri)

Male—Dark reddish brown; frons nearly black except for anterior margin, vertex and occiput; labrum largely fulvous. Head moderately clothed with recumbent golden yellow pubescence; and with various length of blackish brown hairs, some of them lined transversely on anterior margin of frons; base of labrum with shorter and finer hairs. Antennae clothed same pubescence, becoming denser towards apices; each segment with one or a few very long milky white hairs and short brownish black bristles sparsely. Pronotum with denser white pubescence on anterior and posterior margin, median line and middle portions of each side of disc, remaining with golden one; and also with some black bristles on sides of a median line and marginal portions where intermixed with white hairs. Elytra clothed with much finer golden yellow pubescence, intermixed with tawny-white one, which formed one or two faint and short sublongitudinal stripes on humerus portions, shaped like W narrow transverse band between near base and basal 1/3, inverse W-shaped band on between middle and basal 2/3, these two faintly connected with a narrow longitudinal short stripe at middle of each elytron, and three or more short sublongitudinal stripes behind inverse W-shaped band irregularly connected with each other; each elytron also with six longitudinal rows from base to near apex, dorsal four constituted with long suberect brownish black bristles but one or more rows exchanged for milky white hairs at basal and apical ends, and lateral two formed with longer milky white hairs. Legs clothed with golden pubescence; and with short milky white hairs sparsely, and hind tibiae with short dark bristles.

Head rather densely scattered with distinct granules; frons about 1.5 times as broad as deep, feebly convex at middle; vertex broadly and somewhat strongly concave between antennal insertions; inferior eye-lobe about 1.2 times as deep as broad, and 2.4 times as deep as gena below it. Antennae about 1.4 times as long as body; scape moderately long, about 3.9 times as long as thick; ratio of segments as follows — 3.9 : 1.0 : 3.3 : 3.3 : 3.0 : 2.7 : 2.5 : 2.4 : 2.3 : 2.1 : 1.9. Prothorax about 1.7 times as broad as long, posterior margin as broad as anterior; lateral tubercles just behind middle long and stout, pointing rather backward and fairly upward; a pair of small and distinct teeth at near base of lateral margins furnishing one long hair (Fig. 1p); disc comparatively flattened at posterior half, and with distinct and fine granules rather densely. Scutellum broad and rounded-triangular. Elytra somewhat long, about 2.1 times as long as broad, breadth at base about 1.2 times as broad as prothorax at broadest portion; disc with feeble elevations just behind scutellum; irregularly deep punctate; interspaces of punctures with very fine granules and small feeble tubercles at basal 1/5. Underside of body scattered with fine granules.

Length: 4.7–6.7 mm, breadth: 1.6–2.5 mm.

Holotype—♂, Near Meifeng, Hantou Hsien, central Taiwan, 22 May 1976, T. SHIMOMURA leg. Paratypes—Same locality as holotype: 1♂, 22 May 1974, K. AKIYAMA leg.; 1♂, 18 May;

3♂♂5♀♀, 19 May; 3♂♂, 20 May; 3♂♂, 22 May; 1♂1♀, 24 May; 2♂♂, 3 June; 1♂1♀, 7 June 1976, T. SHIMOMURA leg. Sungkan, Nantou Hsien: 1♀, 15 June 1970, S. FUKUDA leg.

f. *mirabillialis* f. nov.

This form differs from the typical one in having elytra with extremely extended broad tawny-white pubescent maculation behind inverse w-shaped band, leaving only brownish two small apical spots and narrow sutural stripes.

Type—♀, Near Meifeng, 7 June 1976, T. SHIMOMURA leg.

This new species is very unique in having two kinds of hairs or bristles, white and black ones on antennae, marginal portions of prothorax, lateral side of elytra and legs. The authors considered the characters sufficient enough to establish new subgenus *Bicolorihirtus*.

E. (Camptomyne) ciliatissimus GRESSITT (1956) from Palau Is. (Western Caroline Iss., Micronesia) also has two kinds of hairs or bristles. However this species differs from *venatoides* sp. nov. in the following respects: each elytron with six seriate punctures rows and six black bristles rows on disc, while the new species with irregular punctures and four black bristles rows. The authors considered *E. ciliatissimus* is the nearest allied to this new species, however they hesitate to classify it into subgenus *Bicolorihirtus*, because they could not have chance to examined the type specimen.

***Exocentrus (Exocentrus) brevisetosus* GRESSITT (Fig. 2)**

Exocentrus testudineus MATSUSHITA subsp. *brevisetosus* GRESSITT, 1938

Phillipp. Journ. Sc., **65** : 167, pl. 1, fig. 4.

Exocentrus brevisetosus, GRESSITT, 1951, Longicornia, **2** : 526, 527.

Exocentrus (Exocentrus) brevisetosus, BREUNING, 1958, Bull. Brit. Mus., **7**(5) : 214, 229.

“Dull chocolate brown” to dark reddish brown, head nearly black, sometimes reddish or partly paler. “Body clothed with pale (whitish golden) pubescence as follows: head thinly clothed over most of surface; prothorax thinly clothed, a distinct oblique spot on either side, and a fine midlongitudinal line, on disc; scutellum fairly densely clothed; elytra each with a faint longitudinal stripe extending back from base interior to humerus and a suboblique one extending from near suture behind scutellum, both meeting a narrow transverse band that reaches external margin but does not quite touch suture, next a longitudinal stripe along middle of dorsal disc, crossing slightly over the preceding band and extending to middle where it dichotomously divides, the two branches continuing obliquely, the inner to suture, the outer an equal distance and turning and continuing transversely to external margin, and lastly a zigzag band just beyond beginning of apical quarter; ventral surface moderately clothed.” Body also clothed with short bristles, lined transversely on labrum and anterior margin of frons; “very sparse” on head, “pronotum, and legs”; each elytron

arranged in eight longitudinal rows from base to near apex, but second and sixth rows, counting from suture side (in this paper, always counts this way), not reached near apex. And also "antennae with very short, slightly raised, dark hairs".

"Head feebly swollen, hardly concave at vertex, finely granulose"; frons about 1.3 times as broad as deep; eyes somewhat small, inferior eye-love about 1.1 times as broad as deep, and about 2.2 times as deep as gena below it. Antennae rather long, about 1.5 times as long as body in male, and about 1.3 times in female; scape about 4.1 times as long as thick; ratio of segments as follows—3.6 : 1.0 : 3.3 : 3.3 : 2.8 : 2.4 : 2.4 : 2.2 : 2.0 : 1.9 : 2.0. Prothorax about 1.6 times as broad as long, this ratio does not agree with GRESSITT's original description, "prothorax about twice as broad as long"; posterior margin slightly narrower than anterior margin; "strongly produced laterally", lateral tubercles behind middle of each side rather small, subtriangular, and flattened, directed somewhat "obliquely backward" and upward (Fig. 2p). Scutellum triangular, not "rounded" as GRESSITT described. Elytra about 2.0 times as long as broad; disc feebly convex behind scutellum, then feebly impressed at basal 1/3; also surface deeply, "closely and irregularly punctured to apices."

The sentences or words in " " are cited from the original description by GRESSITT (1938).

Material examined — Roshan, Nantou Hsien, central Taiwan: 1 ex., 1-2 May 1973, K. KINUGASA leg. Nanshanchi, Nantou Hsien: 2♀♀, 7 May; 1♂, 15 May 1976, T. SHIMOMURA leg. Palin, Taoyuan Hsien, northern Taiwan: 1♀, 26 May 1977, J. ITO leg. (Pl. 1-2). Taman, Taoyuan Hsien: 1♂, 27 May 1977, J. ITO leg. Senpei, Kaohsiung Hsien, southern Taiwan: 1♂, 5 June 1976, K. AKIYAMA leg., 1♀, 25 May 1977, H. FUJITA leg.

Length: 3.7-4.7 mm, breadth: 1.3-1.7 mm.

GRESSITT (1938) described *brevisetosus* as subspecies of *E. testudineus* MATSUSHITA (1931) distributed in Japan, but later he (1951) elevated to distinct species. This treatment is quite reasonable, for these two species are surely alike in elytral markings, but the former distinctly differs from the latter in form of prothorax, state of bristles and elytral punctures, etc. This species is structurally allied to *E. (Exocentrus) galloisi* MATSUSHITA (1933) in Japan rather than *E. testudineus*.

***Exocentrus (Exocentrus) kentingensis* sp. nov.** (Fig. 3)

(Japanese name: Kuroobi-kebuto-keshi-kamikiri)

Male—Dark brown to pitchy brown; generally darker on head, pronotum, and metasternum; sometimes paler on mouthparts, gula, scape, anterior margin and lateral tubercles of prothorax, pro- and mesosternum, sutural portion of elytra, coxae and trochanter. Head sparsely clothed with whitish grey pubescence; intermixed with fine and long brownish black hairs; shorter ones lined

transversely on anterior margin of frons and labrum. Antennae densely clothed with dark pubescence, but paler on insides of scape and pedicel, and bases of third to eighth or sometimes to tenth; scape and chiefly inside of following segments with brownish black bristles. Pronotum covered with gray pubescence, but darker and finer one on each side of a median line and middle of disc; lateral parts of anterior margin with a pair of notable black bristles; apical half and posterior margins intermixed with shorter brownish black bristles and basal half with longer ones. Elytra with three ground-color areas, first band at basal portion, second at just behind middle fairly broad and subzigzag, and third subrounded at near each apex, these three areas clothed with very fine dark brown pubescence, remainder of surface with whitish yellow one; each elytron with very long and stout erect black bristles usually arranged in eight longitudinal rows from base to near apex, but second row only attaining basal $2/3$; each bristle surrounded by a small irregular glabrous spot. Legs clothed with grey pubescence; and very sparsely with short bristles; apical $1/3$ of middle and hind tibiae with short brownish black hairs.

Head scattered with fine granules fairly densely; occiput with minute and sparse punctation; frons about 1.4 times as broad as deep, surface weakly convex; vertex feebly and broadly concave between antennal insertions; eyes somewhat small, inferior eye-lobe about 1.2 times as deep as broad, and about 1.6 times as deep as gena below it. Antennae somewhat long, 1.5 times as long as body; scape moderately long, about 4.2 times as long as thick; relative lengths of segments as follows—4.2 : 1.0 : 3.0 : 3.0 : 2.9 : 2.4 : 2.3 : 2.2 : 2.1 : 2.0 : 1.9. Prothorax about 1.6 times as broad as long, and breadth at posterior margin as broad as anterior margin; sides expanded laterally, on basal $1/3$ lateral tubercles pointing to straight backward or to humeri and rather upward (Fig. 3p), disc finely and fairly densely granulose. Scutellum small, rounded-triangular. Elytra somewhat short, about 1.8 times as long as broad; broadly and shallowly impressed at sides of suture from basal $1/4$ to $1/3$; surface irregularly and rather sparsely scattered with minute and obscure punctures from base to near apices. First hind tarsal joints slightly longer than following two combined. Underside of body with fine granules moderately.

Length: 2.5–5.5 mm, breadth: 1.0–2.2 mm.

Holotype—♂, Near Kenting Park, Pingtung Hsien, southern Taiwan: 30 Mar. 1971, K. MATSUKI leg. Paratypes—Same place as holotype: 1♂, 14 Mar. 1971, N. YAMAMOTO leg., 45♂♂31♀♀, 29–31 Mar.; 14♂♂12♀♀, 9–12 Apr. 1971, K. MATSUKI leg.; 2♀, 26 and 27 Oct. 1976, J. ITO leg.

Elytral marking of this new species is very similar to *E. (Pseudocentrus) dalbergianus* GRESSITT (1951) collected in central China, but differs from the following points: the latter has “inferior eye-lobe nearly three times as deep as gena below it, and being prothorax about twice as broad as deep as long”, while the new species has much smaller eye and less broader prothorax. *E. dalbergianus* was referred to *Pseudocentrus* by BREUNING (1958) without examined this species.

One of the important characters of this subgenus is that the third antennal segment is slightly longer than fourth, however, GRESSITT (1951) did not stated relative length of them in his original paper. Therefore it is questionable *dalbergianus* is belonged to *Pseudocentrus*, it might be to subgenus *Exocentrus*.

This new species is very unique for having extremely thick and long erect bristles, then there are no allied species in Taiwan and Japan.

***Exocentrus (Exocentrus) nanshanensis* sp. nov.** (Fig. 4)

(Japanese name: Nansyan-usuobi-keshi-kamikiri)

Male—Integument blackish brown; head brownish black to black, anterior margin of frons more or less paler, labrum yellowish brown, other mouthparts largely reddish, gula dark reddish brown; antennae somewhat reddish, basal portion of each segment paler; anterior and posterior margins of prothorax and lateral tubercles dark reddish brown; elytra reddish brown; coxae, trochanters, bases of tibiae, and tarsi more or less paler. Head sparsely clothed with golden yellow pubescence; and sparsely and irregularly with thick brownish black hairs; some of them lined transversely on anterior margin of frons, shorter and finer ones on labrum. Antennae sparsely with finer pubescence; and with short and fine dark brown hairs; also sparsely with thick brownish black hairs. Pronotum with denser golden pubescence on midlongitudinal line broadly, elongate spot at each side of disc, and posterior margin; finer pubescence on both sides of midlongitudinal line; whole marginal portions and both sides of median line with brownish black bristles chiefly; lateral margins also with a few very fine paler hairs. Elytra entirely covered with very fine golden pubescence; thicker pubescent spots maculating irregular transverse bands at basal 1/3 and apical 2/5, seriated spots along suture extending from base to apex, and a few incomplete sublongitudinal rows in places; sometimes these maculae diminished and disappeared; each elytron furnished with fairly long brownish black bristles usually arranged in eight longitudinal rows from base to near apex, but second row lined from base to apical 1/3, and sixth at only middle portion with a few bristles. Legs moderately clothed with pubescence; sparsely with short and thick brownish black bristles; each trochanter with a long and fine pale brown hairs; apical halves of middle- and hind-tibiae, and underside of fore-tibiae densely with very short brownish black bristles. Beneath with finer pubescence than dorsal one, longer and denser on posterior margin of each abdominal sternite; lateral margins of each sternite and apical half of last one with a few long dark brown hairs.

Head densely scattered with distinct granules, finer and denser ones on occiput; frons about 1.2 times as broad as deep; vertex broadly concave between antennal insertions; eyes large, inferior eye-lobe about 1.2 times as deep as broad, and about 2.7 times as deep as gena below it. Antennae about 1.4 times as long as body relative length of each segment—4.2 : 1.0 : 3.5 : 3.5 : 3.3 : 3.1 : 2.9 : 2.7 : 2.5 : 2.3 : 2.2. Prothorax about 1.6 times as broad as long, and posterior margin

as broad as anterior margin; sides moderately expanded, lateral tubercles at basal 1/3 long and rather upward, and fairly strongly bent inside (Fig. 4p); disc scattered with distinct and fine granules densely. Scutellum broad, nearly semicircular. Elytra about 2.0 times as long as broad; areas behind scutellum weakly raised, and broadly impressed behind them; surface sparsely and irregularly scattered with deep punctures. Each abdominal sternite with shallow oval depression on each side.

Length: 4.0–5.7 mm, breadth: 1.4–2.1 mm.

Holotype—♂, Nanshanchi, Nantou Hsien, central Taiwan: 2 May 1977, J. ITO leg. Paratypes—Same locality as holotype: 2 exs. 3–4 May 1973, K. KINUGASA leg.; 1♂1♀, 29–30 Apr.; 3♂♂, 8, 10 & 25 May; 1♂, 1–2 June 1976, T. SHIMOMURA leg.; 3 exs. 12 July; 1 ex. 26 July; 1 ex. 29 July 1976, H. NARA leg.; 1♂, 9 May 1977, W. SUZUKI leg.; 1♀, 10 May 1977, J. ITO leg.; 2♂♂1♀, 23 July; 1♂1♀, 25 July, 1♂1♀, 4 Aug. 1977, K. KUSAMA leg. Lienhwachi, Nantou Hsien: 1♂1♀, 21–23 May; 1♂1♀, 29–31 May 1976, T. SHIMOMURA leg.; 2♂♂, 24 July 1976, M. KUBOTA leg. Jiuyuehtan, Nantou Hsien: 1♂1♀, 27 May 1976, T. SHIMOMURA leg.

This new species is allied to *E. (Exocentrus) testudineus* MATSUSHITA located in Japan, but differs from the latter in having lateral prothoracic tubercles stouter and more strongly bent, elytra somewhat shorter and more largely punctured, elytral bristles longer, sparser and more erectable, and elytral marking formed with small spots of golden yellow pubescence, instead of continuous yellowish grey pubescence, not small spots, as the case of *testudineus*.

***Exocentrus (Exocentrus) fulvobrunneus* sp. nov.** (Fig. 5)

(Japanese name: Kichamadara-keshi-kamikiri)

Male—Head and mandibles pitchy black; clypeus and labrum fulvous; gena to gula, and antennae brunneus; but pedicel and base of each antennal segment more or less paler; pronotum brunneus, margined with dark reddish; elytra brunneus and patched with several irregular fulvous maculae from behind bases to apical 1/3, and near apices with large suboval areas; femora largely brunneus, other parts testaceous; beneath fuscus, anterior margin of prosternum brunneus, mesosternum and mesepisternum more or less rufescent. Head sparsely clothed with ivory-white pubescence and short pitchy hairs; some longer hairs lined transversely on anterior margin of frons and labrum. Apical portions of antennal third segment and fourth, and following ones exchanged with darker and denser pubescence; each segment with short suberect paler hairs and also long pitchy hairs mainly on inside. Pronotum with fine ivory-white pubescence, denser on a median line and each side of disc; and sparsely with fine long pitchy hairs near median line and at marginal portions. Elytra clothed with fine fuscous pubescence excepting on fulvous maculae which generally with thick ivory-white one; each elytron with piceous bristles arranged in eight longitudinal rows from base to near apex, but second row lined to just behind middle and sixth one to basal 2/3. Legs and under side of body clothed with pale aureate pubescence; legs sparsely with somewhat short

pitchy hairs; apical halves of middle and hind tibiae with very short piceous bristles; last abdominal sternite with short fine fuscous hairs chiefly on posterior margin.

Head rather densely scattered with fine granules; frons about 1.4 times as broad as deep, feebly convex at middle; vertex broadly and feebly concave between antennal insertions; eyes large, inferior eye-lobe about 1.3 times as broad as deep, and about 3.3 times as deep as gena below it. Antennae about 1.3 times as long as body; scape moderately long, about 3.9 times as long as thick; ratio of segments as follows—4.0 : 1.0 : 3.3 : 3.4 : 3.0 : 2.9 : 2.7 : 2.7 : 2.4 : 2.2 : 2.2. Prothorax about 1.6 times as broad as long, posterior margin slightly shorter than anterior margin; sides obliquely expanded; lateral tubercles at basal 1/3 somewhat short and slender, directed moderately backward and rather upward (Fig. 5p); disc densely scattered with fine granules. Scutellum rounded-triangular. Elytra about 2.1 times as long as broad; basal areas behind scutellum raised weakly and broadly, following portions impressed feebly and broadly; disc sparsely and irregularly punctured till near apices, but subseriatly in places. Beneath granulose very finely.

Length: 3.9 mm, breadth: 1.4 mm.

Holotype—♂, Roshan, Nantou Hsien, central Taiwan: 1-2 May 1973, K. KINUGASA leg.
Paratype—♂, same place as holotype, 9 May 1977, H. FUJITA leg.

This new species is very closely allied to *E. (Exocentrus) nanshanensis* sp. nov., but differs from the latter as following characters: pronotum dark red except for anterior margin and middle portion, elytra with several irregular fulvous areas, which clothed with ivory white pubescence, bristles of antennae and elytra shorter and somewhat fewer, inferior eye-lobe larger, and then ratio of eye in depth to gena below it larger, lateral tubercles almost straight.

***Exocentrus (Exocentrus) savioi* PIC (Fig. 6)**

Exocentrus curtipennis var. *savioi* PIC, 1925, Bull. Soc. ent. Fr.: 138

Exocentrus curtipennis var. *savioi*, SAVIO, 1929, Note. d'Ent. chin., 1(3): 3

Exocentrus curtipennis savioi, GRESSITT, 1937, Lingnan Sc. Journ., 16: 615;

GRESSITT, 1951, Longicornia, 2: 527

Exocentrus (Exocentrus) savioi, BREUNING, 1958, Bull. Brit. Mus., 7(5): 214, 228

Head, prothorax, femora and large part of metasternum brownish black; elytra dark brown; antennae, gena to gula, lateral tubercles of prothorax, pro- and mesosternum, middle of metasternum, and legs except for femora more or less reddish, but becoming darker to apex on each antennal segment and each tibia. Surface clothed with greyish pubescence, according to "Longicornia" by GRESSITT (1951), "marked with vague glabrous spots", which surrounding insertion of each bristle on pronotum and elytra, and "a postmedian subtransverse glabrous band" on elytra, while PIC described in his original paper about this species, "dépassant les élytres d'environ un article". Bristles fairly long, relatively oblique, and arranged in eight longitudinal rows from base to near apex on

each elytron, but second and sixth rows not reached apex utterly.

Head finely granulose, but hardly to see for with dense pubescence; frons 1.6 times as broad as deep; eyes rather small, inferior eye-lobe 1.3 times as deep as broad, and about 1.6 times as deep as gena below it. Antennae somewhat longer, about 1.5 times as long as body; scape about 4.0 times as long as thick; relative length of segments—4.4 : 1.0 : 3.9 : 3.8 : 3.0 : 2.8 : 2.7 : 2.6 : 2.2 : 2.1 : 2.0. Prothorax about 1.6 times as broad as long, this ratio does not agree with GRESSITT's description "prothorax about twice as broad as long" in his key; posterior margin slightly narrow than anterior margin; sides moderately expanded; lateral tubercles at basal 1/4 stout and somewhat flattened, directed slightly outside of humerus and fairly upward (Fig. 6p). Elytra about 1.9 times as long as broad; disc broadly and feebly convex behind scutellum; "elytral punctures mediocre, not very regular, rather close."

Material examined—Roshan, Nantou Hsien, central Taiwan: 1 ♂, 1-2 May 1973, K. KINUGASA leg. (Pl. II-8)

Length: 4.7 mm, breadth: 1.8 mm.

Distribution: China: Zi-Ka-Wai (type locality); Kiangsi; Kiangsu; Chekiang. Taiwan: Kakku (VII, MIWA leg., in Taiwan Agr. Res. Inst.).

There is a discrepancy about the figure of prothorax mentioned above, but the authors guess the specimen used by GRESSITT may be female or his expression may a little bit exaggerated.

***Exocentrus (Camptomyne) formosofasciolatus* sp. nov.** (Fig. 7)

(Japanese name: Taiwan-kumogata-keshi-kamikiri)

Female—Integument blackish brown; head black, reddish on gena, more or less paler on gula, insides of mandibles, clypeus and labrum except for both borders of them, antennae paler at base of each segment; prothorax usually paler on anterior margin; trochanters, basal portions of tibiae and first tarsal joints reddish brown; sometimes reddish on anterior portion of mesosternum. Head sparsely clothed with yellowish grey pubescence; and with comparatively short and oblique brownish black hairs very sparsely, some longer suberect ones transversely lined on anterior margin of frons and shorter ones on labrum. Antennae somewhat densely clothed with dark brown pubescence excepting inside of scape, pedicel and basal portions of third and fourth segments, which with yellowish grey one; mainly inside of each segment with fine oblique brownish black bristles. Prothorax clothed with fine dark brown pubescence, except for dorsal three longitudinal stripes, somewhat narrow median line and two broad stripes on each side of line, which consisted with thick paler grey pubescence, but sometimes these stripes faint or diminished; anterior angle of disc with a notable bristle; lateral side sparsely and irregularly with various length of hairs. Elytra with several ground-colored areas, basal portions, before middle of each side, broadly on apical 1/3, near apices, and sometimes scattered on middle portions; these ground-colored areas clothed

with very fine dark brown pubescence; remaining parts densely furnished with longer yellowish grey one; each elytron with thick and long erect brownish black bristles, arranged in seven longitudinal rows from base to near apex, but second one attaining only middle. Legs clothed with pale pubescence; and with a few short and fine hairs; apical 2/5 of middle and hind tibiae with very short black bristles. Underside with finer pubescence; lateral margins of abdominal sternites with a few dark long hairs and denser on apical half of last sternite.

Head scattered with obscure fine granules sparsely, becoming fewer and finer towards neck; frons about 1.2 times as broad as deep, surface feebly convex; vertex almost flattened between antennal insertions; eyes small, inferior eye-lobe about 1.4 times as deep as broad, and equal to gena below it in depth. Antennae about 1.3 times as long as body, scape about 4.0 times as long as thick; ratio of segments — 3.7 : 1.0 : 3.4 : 3.3 : 2.5 : 2.3 : 2.1 : 2.0 : 1.9 : 1.8 : 1.7. Prothorax suboblong, about 1.5 times as broad as long, and distinctly narrower at posterior margin than at anterior one; sides a little widened; lateral tubercles at basal 2/3, somewhat short, pointing almost to humeri and upward (Fig. 7p); disc scattered with very fine granules considerably densely. Scutellum rounded-triangular. Elytra about 1.9 times as long as broad; surface subseriatly punctured excepting sutural 1/4 to apical 1/6. Metasternum and abdominal sternites with obscure and fine granules.

Length: 3.1-4.7 mm, breadth: 1.2-1.8 mm.

Holotype—♀, Nanshanchi, Nantou Hsien, central Taiwan, 27 Apr. 1977, J. ITO leg. Paratypes—Same locality as holotype: 1♂, 3-4 May 1973, K. KINUGASA leg. Roshan, Nantou Hsien: 1♀, 1-2 May 1973, K. KINUGASA leg. Sungkang, Nantou Hsien: 1♀, 15 May 1970, S. FUKUDA leg. Meifeng, Nantou Hsien: 1♂, 7 June 1976, T. SHIMOMURA leg. Tsuifeng, Nantou Hsien: 1♀, 20 June 1976, J. ITO leg.

This new species is closely allied to *E. (Camptomyne) fasciolatus* BATES (1873) distributed in Japan, but the latter differs from the former as the following characters: body generally larger; eyes larger, inferior eye-lobe nearly three times as deep as gena below it; anterior margin of pronotum rounder, sides strongly and arcuately expanded; and elytra with smaller ground-colored areas at base and each side of before middle and arranged in some greyish pubescent spots on broad transverse area behind middle.

***Exocentrus (Camptomyne) pseudovaripeennis* sp. nov.** (Fig. 8)

(Japanese name: Nise-monmadara-keshi-kamikiri)

Male—Body brown to brunneus, weakly shining; generally darker on head, antennae, apical halves of elytra, legs. and abdominal surface; labrum yellowish brown; pronotum nearly black, some times reddish on anterior and posterior margins. Head sparsely clothed with buff pubescence; and with piceous hairs, some of them lined transversely on anterior margin of frons

and labrum. Antennae densely clothed with dark recumbent pubescence; short piceous bristles chiefly at inside of segments. Pronotum rather sparsely clothed with buff pubescence; but middle of each side, basal area of lateral tubercle and posterior margin exchanged with thick white one; marginal portions and sides of median line with some bristles or hairs. Scutellum with thick white pubescence somewhat densely. Elytra crossed by three narrow irregular bands of thicker white pubescence, first band at basal 1/5, second behind middle, third subobliquely at near apices and connected with second band along by suture, and also longitudinal arranged in a few small white pubescent spots between first and third bands; each elytron with piceous bristles arranged in seven longitudinal rows from base to near apex, but fifth row lined with only three or four bristles at middle portion. Legs and beneath with whitish pubescence; legs with piceous bristles very sparsely; and with short piceous hairs chiefly on apical halves of tibiae; last abdominal sternite with dark brown hairs on apical half.

Head distinctly and irregularly granulose; frons about 1.1 times as broad as deep, surface weakly convex; vertex broadly and rather shallowly concave between antennal insertions; inferior eye-lobe about 1.2 times as deep as broad, and about 2.8 times as deep as gena below it. Antennae about 1.2 times as long as body; scape about 4.0 times as long as thick; relative length of segments as follows—4.6 : 1.0 : 3.2 : 3.2 : 2.7 : 2.6 : 2.5 : 2.2 : 2.2 : 2.0 : 2.0. Prothorax about 1.6 times as broad as long; and slightly narrower at posterior margin than at anterior one, moderately expanded at sides, lateral tubercles at basal 1/3 pointed obliquely backward and slightly upward; disc scattered with distinct granules rather densely except for middle of a median line (Fig. 8p). Scutellum broad, rounded triangular. Elytra about 2.0 times as long as broad; each with large and subseriate punctures in nine or ten longitudinal rows from base to apical 1/5, but irregular on deflexed portion. Mesosternum, mesepisternum and metasternum densely scattered with fine distinct granules, abdominal surface with finer ones.

Length: 3.3-4.4 mm, breadth: 1.2-1.4 mm.

Holotype—♂, Roshan, Nantou Hsien, central Taiwan: 1-2 May 1973, S. TSUYUKI leg. Paratypes—Lienwachi, Nantou Hsien: 2♂♂1♀, 12 May 1975, K. AKIYAMA leg. Nanchanchi, Nantou Hsien: 1♀, 15 May; 4♂♂3♀♀, 25 May 1976, T. SHIMOMURA leg.; 1♂, 19 June 1976, T. MATSUMOTO leg. Liukuei, Kaohsiung Hsien, southern Taiwan: 1♂1♀, 23 Sept. 1976, J. ITO leg.

GRESSITT (1938, 1951)* reported *variepennis* from Taiwan (Kuraru=Kueitzuchiaio, Pingtung Hsien), but his description is quite different from that of BREUNING (1958) probably based on the type specimen. The specimens used in this paper are much identical with GRESSITT's description and also comparatively agrees with elytral markings originally stated by SCHWARZER, however, obviously differs from BREUNING's description as the following respects: third antennal

* GRESSITT, 1938, Philipp. Journ. Sc., 65: 168; 1951, Longicornia, 2: 526, 530.

segment is much longer than the fourth, elytra are irregularly punctured, these are the characters of his newly established subgenus *Formosexocentrus*, while the specimens used by the present authors having equal length of third and fourth antennal segments, and elytron with nine or ten longitudinal rows of punctures. The authors considered these specimens to be a new species, and named *pseudovariepennis*. (see also in the paragraph of *E. variepennis*).

This new species closely allied to *E. (Camptomyne) trifasciellus* GRESSITT (1940) in Hainan Is., but the latter differs in having the prothorax more expanded laterally, the tubercles much longer, the punctures on elytra sparser, and three white transverse bands more anteriorly placed (according to GRESSITT original description).

***Exocentrus (Pseudocentrus) immaculatus* GRESSITT (Fig. 9)**

Exocentrus immaculatus GRESSITT, 1951, Longicornia, 2: 525, 529.

Exocentrus (Pseudocentrus) immaculatus, BREUNING, 1958, Bull. Brt. Mus., 7(5): 222, 293.

Body largely black; antennae brunneous, apical half of each segment more or less darker, except for second; pronotum and elytra slightly reddish, and sutural portion at behind middle of elytra brunneous; legs bluish brown, reddish in parts; abdomen brunneous, middle portion of each sternite darker. "Body largely clothed with thin pale pubescence; elytra (each) with small brown glabrous spots arranged in about seven longitudinal rows (second and sixth rows not reached apically), each spot surrounding the insertion of a bristles; bristles relatively short, but stout and suberect on elytra, nearly lacking on prothorax."

Head fairly densely scattered with fine and distinct granules; frons about 1.5 times as broad as deep; inferior eye-lobe about 1.3 times as deep as broad, and about 2.3 times as deep as gena below it. Antennae about 1.2 times as long as body; scape about 4.2 times as long as thick, ratio of segment of examined specimen as follows—3.5 : 1.0 : 2.7 : 2.6 : 2.2 : 1.9 : 1.8 : 1.6 : 1.6 : 1.5 : 1.5. GRESSITT (1951) mentioned "fourth three-fourths as long as third, one-third longer than fifth", while about examined specimen fourth slightly shorter than third. Prothorax about 1.6 times as broad as long, slightly narrower at posterior margin than anterior one; sides moderately expanded; lateral tubercles at basal 1/3 "flattened and pointing subobliquely backwards" (Fig. 9p). "Scutellum rounded-triangular". Elytra about 2.1 times as long as broad; disc rather strongly convex behind scutellum, and impressed behind convex area; insertions of bristles distinctly and fairly strongly raised, "irregularly punctured in about a dozen rows to apical quarter."

Length: 5.0 mm, breath: 1.8 mm.

Material examined—Nanshanchi, Nantou Hsien, central Taiwan, 1♀, 8 May 1976, T. SHIMOMURA leg. (Pl. III-9).

"Holotype specimen: ♂, Kuraru, alt. 150m, (=Kueitzuchiaio, Pingtung Hsien, southern Taiwan), May 1935, GRESSITT leg. [in California Acad. Sci.]".

“ ” are cited from original description, but a word or a sentence in () is the authors' observation or explanation.

Ratio of antennal segments third to fourth, and fairly darkened color of the body of a examined specimen do not agree with the description of GRESSITT, but the other characters are almost fit the original ones.

Exocentrus (Pseudocentrus?) rufithorax GEEESSITT (Fig. 10)

Exocentrus rufithorax GRESSITT, 1935, Trans. nat. Hist. soc. Formosa, 25: 286;

GRESSITT, 1951, Longicornia, 2: 526, 530.

Exocentrus (Pseudocentrus) rufithorax, BREUNING, 1958, Bull. Brit. Mus., 7(5): 222, 294.

Body pitchy chocolate brown to black; “the prothorax, lower portions of neck, genae and mouthparts red”, but sometimes broadly dark at middle of pronotum and prosternum. Surface clothed with dark yellow pubescence, in addition to “a thin white pubescence of short subreclining hairs, dense on the ventral surface and sparser on the elytra where they are irregularly grouped in longitudinal rows of faint spots”; antennae and elytra clothed thinly, but becoming denser apically. “Very long, erect fine bristle-like hairs” usually arranged in eleven longitudinal rows from base to near apex on each elytron, but fourth row lined with a few hairs from base to middle and sixth one from middle to apical 1/4, sometimes both rows diminished or disappeared.

“Head slightly concave between antennal insertions;” densely and finely granulated; frons about 1.5 times as broad as deep; eyes somewhat small, inferior eye-lobe about 1.4 times as deep as broad, and about 1.9 times as deep as gena below it. Antennae about 1.1 times as long as body in female, somewhat longer in male; scape about 4.7 times as long as thick; ratio of segments as follows—5.3 : 1.0 : 4.2 : 3.6 : 3.0 : 2.6 : 2.5 : 2.1 : 2.0 : 1.8 : 1.9 (this ratio in female). Prothorax about 1.7 times as broad as long in female, about 1.5 times in male. Elytra about 2.0 times as long as broad (Fig. 10p); punctures rather irregular, and becoming gradually smaller apically. Beneath with very fine obscure granules.

Sentences in “ ” are cited from the original description by GRESSITT (1935).

Length: 5.1–5.3 mm, breadth 1.7–1.9 mm.

Material examined—Yushin (=Miharashi), Nantou Hsien, central Taiwan: 1♀, 18 Apr. 1967, S. FUKUDA leg. (Pl. III-10). Meifeng, Nantou Hsien: 1♂, 20 May 1977, K. AKIYAMA leg. All specimens were collected at more than 1700 m altitude, including holotype of GRESSITT.

Hitherto, this species has been referred to subgenus *Pseudocentrus* by BREUNING, for third antennal segment is slightly longer than fourth, but the ratio of the third to the fourth was 1.0 : 0.86 in female and 1.0 : 0.88 in male of examined specimens. *E. (Pseudocentrus) guttulatus* from Japan has the ratio of 1.0 : 0.93, and other species in Japan belonged to *Pseudocentrus* usually have the similar ratio. Considering from this ratio and irregular punctation on elytra, it

might be better this species to transfer from subgenus *Pseudocentrus* to *Formosexocentrus*, the authors, however, have not examined any species of the latter, the decision have to postponed till such specimens will be collected.

***Exocentrus (Formosexocentrus) variepennis* (SCHWARZER)**

Camptomyne? *variepennis* SCHWARZER, 1952, Ent. Blatt., 21: 147.

Exocentrus (Formosexocentrus) variepennis, BREUNING, 1958, Bull. Brit. Mus.,
7(5): 226, 322 (type species of this subgenus, monotypy).

The authors have not examined any specimen which correspond to the description by BEUNING (1958). According to his revision, characters are as follows: "Antennae one-third longer than body, third segment much longer than fourth and slightly longer than scape. Inferior eye-lobe slightly deeper than gena below it. Pronotum strongly transverse expanded, with a strongly bent lateral spine. Elytra rounded at apices, surface with fairly dense, very fine, and irregular punctures on basal 2/3. Body blackish brown. Elytra brown, with whitish marble pattern on basal half, and with a narrow, wavy, transverse white band at behind middle. Fourth to tenth antennal segments ringed with whitish pubescence at each base. Surface furnished with long erect black bristles."

There are some discrepancy between the description of SCHWARZER and BREUNING, namely, SCHWARZER described three elytral banding "eine hinter der Schulter und eine hinter der Mitte gerade, die dritte vor der Spitze schrag" instead of two, also he described as to elytral punctation "Flugeldecken grob punctiert", while BREUNING stated "elytres assez densément et très finement ponctués". Furthermore, BREUNING mentioned whitish pubescence of fourth to tenth antennal segments, but SCHWARZER omitted it.

Length: 3 mm (by SCHWARZER and BREUNING), breadth: 1 mm (by BREUNING).

Holotype: ♀, 1912, Kankau (=Kangkou, Pingtung Hsien), southern Taiwan (in Senckenberg Museum, Frankfurt).

Exocentrus (Oligopsis) alboguttatus* FISHER (1925)

subsp. *taiwanensis* subsp. nov. (Fig. 11)

(Japanese name: Taiwan-shiroobi-gomahu-keshi-kamikiri)

Female—Body slightly brownish black; head entirely black, apical half of labrum yellowish brown; prothorax blackish brown, anterior and posterior margins and lateral tubercles reddish; elytra dull reddish brown, paler on near apices; trochanters more or less reddish brown; basal halves of tibiae brown. Antennae clothed with yellowish grey pubescence on insides of scape, pedicel, basal 2/3 of third to fifth segments, and bases of sixth to eighth ones; and with small glabrous spots surrounding insertion of a bristles on above greyish portion, but eleventh segment lacking bristles;

* FISHER, 1925, Philipp. Journ., 28(2): 240.

each segment with long hairs as same as description of subspecies *subconjunctus* by GRESSITT (1940). Elytron at basal half with twelve longitudinal stripes consisting of isolated spots of yellowish grey pubescence, though apical half with nine ones; and a narrow, weakly waved, transverse band of same pubescence at middle; and also with thick but sharp brownish black bristles arranged in fourteen longitudinal rows from base to apex, but second and fourth ones attained to basal 2/3, sixth, eighth and tenth to basal 3/4, further thirteenth lined near lateral margin, which consisted of finer bristles incompletely.

Head somewhat densely and finely granulose; frons about 1.2 times as broad as deep; eyes rather large, inferior eye-lobe about 1.5 times as deep as broad, and about 3.1 times as deep as gena below it. Antennae about 1.2 times as long as body; scape comparatively slender, about 5.7 times as long as thick; relative length of each segment—6.3 : 1.0 : 5.0 : 4.3 : 3.3 : 3.0 : 2.8 : 2.6 : 2.3 : 2.1 : 2.1. Prothorax about 1.6 times as broad as long and slightly narrower at posterior margin than at anterior one, side obliquely expanded; lateral tubercles very stout and rather flattened, placed at basal 1/4 and directed almost straight backward and somewhat upward (Fig. 11p). Elytra about 1.9 times as long as broad; disc feebly but broadly impressed at near basal 1/3; dorsal surface of each with subseriate large punctures in about ten longitudinal rows from base to apical 1/4, but irregularly on deflexed portion.

Length: 6.2, breadth: 2.3 mm.

Holotype: ♀, Liukuei, Kaohsiung Hsien, southern Taiwan. 16 May 1977, J. ITO leg.

This new subspecies is very closely allied to typical form of Philippine Islands, but the latter, according to the original description, differs in being the body generally larger; the scape subequal in length to third antennal segment; the lateral tubercle of prothorax placed slightly behind middle, rather longer and more slender, and bent obliquely backward. This also resembles *E. (Oligopsis) seriatomaculatus* SCHWARZER (1925), but the latter is easily distinguished from the former by the antennal segment hardly ringed; the prothorax broader, about twice as long, sides rounded from just behind anterior margin to basal 1/4, and with some accessory teeth, each furnishing a bristle, the lateral tubercles directed obliquely backward (Fig. 12p); the elytra uniformly convex without impressed areas, each apex more broadly rounded, disc with larger punctures, small pubescent spots consisting seven or eight longitudinal stripes on basal half, four or five on apical half, instead of twelve and nine for *taiwanensis* subsp. nov., respectively, and a transverse median band more irregular, lacking pubescent spots just behind it; the bristles finer and denser, arranged in ten longitudinal rows on each elytron, while this new subspecies in fourteen ones.

FISHER (1925) described *E. alboguttatus* from the Philippines. This species was treated by BREUNING (1958) as a subspecies of *E. guttulatus* BATES (1873) distributed in Japan (Pl. V-13). The present authors, however, believed *alboguttatus* is a distinct species, not a subspecies of *guttulatus*. The differences between two species are as follows: *alboguttatus* has the antennal third

segment about equal in length to scape; the prothorax distinctly narrower at base than apex, sides nearly parallel from apical angles to teeth placed slightly behind middle; the elytra with coarse and dense punctures which more or less arranged in rows at middle of disc, and with a distinct narrow transverse band and numerous long erect black hairs, while *guttulatus* has the antennal third segment longer than scape; the prothorax at base as broad as at apex, sides arcuately expanded from apical angles to tubercles at basal 1/4 (Fig. 13p); the elytra scattered with small and entirely irregular punctures, and with a rather broad transverse band and sparsely with short black bristles.

E. alboguttatus was considered by BREUNING to belong subgenus *Pseudocentrus*, characterized the third antennal segment slightly longer than fourth. However, FISHER stated in his original description "third joint distinctly longer than fourth". This character coincide also with that of Taiwanese specimens. The ratio of third to fourth of this new subspecies taken in Taiwan is 1.0 : 0.86, and *E. (Oligopsis) seriatomaculatus* is also 1.0 : 0.87 (details see in next paragraph). In the other hand, the ratio of *guttulatus* belonged to *Pseudocentrus* is 1.0 : 0.93. The ratio of the latter is much larger than the formers. Based on these facts, the author replaced *alboguttatus* from subgenus *Pseudocentrus* to *Oligopsis*.

***Exocentrus (Oligopsis) alboguttatus subconjunctus* GRESSITT, comb. nov.**

Exocentrus alboguttatus subconjunctus GRESSITT, 1940, Philipp. Journ. Sci.,

72: 184; GRESSITT, 1951, Longicornia, 2: 526.

Exocentrus (Pseudocentrus) guttulatus subconjunctus, BREUNING, 1958,

Bull. Brit. Mus., 7(5): 293.

The authors replaced *subconjunctus* from subspecies of *guttulatus* to of *alboguttatus* as original description by GRESSITT, and belonged to subgenus *Oligopsis*.

This subspecies, according to the original, differs from new subspecies *taiwanesis* in having the elytra with six or more longitudinal stripes of spots; the scape subequal in length to third antennal segment; the prothorax about twice as broad as long; and others.

Distribution: Hainan Island.

***Exocentrus (Oligopsis) alboguttatus obscurior* PIC, comb. nov.**

Exocentrus guttulatus var. *obscurior* PIC, 1929, Mel. exot. ent., 53: 30.

Exocentrus (Pseudocentrus) guttulatus obscurior, BREUNING, 1958, Bull. Brit. Mus., 7(5):

293; BREUNING & RONDON, 1970, Pacif. Ins. Monogr., 24: 512, Fig. 42-b.

Exocentrus guttulatus var. *rufescens* PIC, 1929, Mel. exot. ent., 53: 30.

Exocentrus (Pseudocentrus) guttulatus var. *rufescens*, BREUNING, 1958,

Bull. Brit. Mus., 7(5): 293, **syn. nov.**

Judging from the figure of *guttulatus obscurior* collected at Laos in "Longicornes du Laos" (Pacif. Ins. Monogr. 24, 1970), distribution of this subspecies as shown below, and the description

of BREUNING's revision, this subspecies had better be referred to *alboguttatus* than to *guttulatus*.

E. alboguttatus obscurior differs from subspecies *taiwanensis* nov. in having the elytra with smaller pubescent spots, thicker and denser bristles, and smaller punctures.

Distribution: Bhutan, Andamanes Is., Sumatra, Laos, Tonkin, and China.

***Exocentrus (Oligopsis) seriatomaculatus* SCHWARZER (Pl. III-12)**

Exocentrus seriatomaculatus SCHWARZER, 1925, Ent. Blatt., 21: 147.

Exocentrus lineatus seriatomaculatus, MITONO, 1940, Cat. Col. Jap., 8: 197.

Exocentrus seriatomaculatus, GRESSITT, 1951, Longicornia, 2: 526, 530.

Exocentrus (Oligopsis) seriatomaculatus, BREUNING, 1958, Bull. Brit. Mus., 7(5): 225, 322.

Body "reddish brown to dark brown, shining in places". Head; antennal scape, pedicel and basal portions of third and fourth segments; pronotum at a broad midlongitudinal stripe, large spots on each side of disc and underside of body clothed with yellowish-grey pubescence, but remaining parts of antennae and prothorax with dark brown pubescence. Elytra furnished with seven or "eight longitudinal rows of small spots of white (yellowish-grey) pubescence, sometimes these rows interrupted by an obscure whitish transverse band behind middle", and among these rows with sparse and fine dark yellow pubescence, and disc also furnished with long brownish black bristles densely, usually lined in ten longitudinal rows from base to near apex on each elytron, but fourth row lined from base to behind middle.

Head moderately granulose; frons about 1.5 times as broad as deep; inferior eye-lobe about 1.2 times as deep as broad, and 2.6 times as deep as gena below it. Antennae about 1.3 times as long as body in male, slightly shorter in female; scape somewhat long, about 4.9 times as long as thick; ratio of segments as follows — 4.6 : 1.0 : 3.9 : 3.4 : 2.6 : 2.4 : 2.3 : 2.0 : 2.0 : 1.8 : 1.8. Prothorax about 1.8 times as broad as long in male and 2.0 times in female; lateral tubercles produced at basal 1/4, sides with some accessory teeth furnished with a bristle (Fig. 12p); disc fairly densely granulose. Elytra slightly short, about 1.9 times as long as broad; disc lacking impressed area at all; subseriately arranged large and deep punctures from base to near apices, but becoming smaller and shallower apically.

Length 3.8-6.8 mm, breadth: 1.5-2.6 mm.

Material examined — Nanshanchi, Nantou Hsien, central Taiwan: 2 exs., 10 & 12 June 1970, S. FUKUDA leg.; 1 ex., 3-4 May 1973, K. KINUGASA leg.; 1♂, 21 May 1974, K. AKIYAMA leg.; 1♂1♀, 7 May; 1♂1♀, 15 May; 1♀, 25 May 1976, T. SHIMOMURA leg.; 2♂♂, 12 & 14 June 1976, T. MATSUMOTO leg.; 2 exs. 12 July 1976, H. NARA leg.; 1♀, 8 May 1977, J. ITO leg.; 1♀, 25 July; 2♂♂2♀♀, 1 Aug.; 2♂♂3♀♀, 4 Aug. 1977, K. KUSAMA leg. Lienhwachi, Nantou Hsien: 2♂♂, 16 May; 1♂, 30 May 1975, K. AKIYAMA leg. Liukuei, Kaohsing Hsien, southern Taiwan: 1♂, 5 June 1976, T. SHIMOMURA leg.

This species is one of the most common species in Taiwan. Sentences in “ ” were cited from original description by SCHWARZER, but Germany was translated to English.

Key to the Taiwanese species of *Exocentrus*

1. Antennal 3rd segment nearly equal to 4th..... 2
- Antennal 3rd segment longer than 4th 9
2. Elytra irregularly punctate..... 3
- Elytra seriatly punctate except for sutural 1/4, each arranged in seven longitudinal rows of bristles
(*Camptomyne*) 8
3. Surface clothed with long two kinds of white and black hairs (*Bicolorihirtus* subg. nov.), each
elytron arranged in six longitudinal rows elytra brunneus, with two narrow, zigzag,
transverse tawny white bands at near base and behind middle *venatoides* sp. nov.
- Surface clothed with unicolor bristles or hairs, each elytron arranged in eight longitudinal rows of
bristles (*Exocentrus* s. str.) 4
4. Elytra with a testudineous pattern of whitish golden pubescence, and with very short bristles
..... *brevisetosus*
- Elytra without a testudineous pattern 5
5. Elytra with very thick and very long bristles, and subirregularly clothed with whitish yellow
pubescence except for three ground-color areas; lateral prothoracic tubercle directed to humerus
..... *kentingensis* sp. nov.
- Elytra with not very thick bristles but rather thin ones 6
6. Pronotum brunneus and marginal portions of disc dark reddish; ground-color of elytra brunneus
mottled with irregular fulvous maculae which clothed with ivory-white pubescence, and
with fine and rather short bristles *fulvobrunneus* sp. nov.
- Pronotum largely blackish brown; ground-color of elytra uniformly dark brown 7
7. Elytra clothed with golden yellow pubescence forming two irregular transverse bands and several
spots longitudinally in places, and with fine and long bristles *nanshanensis* sp. nov.
- Elytra more or less clothed with buff pubescence marked with brown spots and a postmedian
subtransverse brown band, and with somewhat thick and fairly long bristles..... *savioi*
8. Elytra weakly shining, with three narrow transverse white bands at basal 1/5, behind middle, and
near apex, and with thick and long bristles *pseudovaricpennis* sp. nov.
- Elytra not shining, without distinct transverse band, clothed with yellowish grey pubescence but
lacking it and exposing ground color on basal portion, before middle of both sides, subtr-
ansverse broad band at apical 1/3, and apex, and with thick and short bristles
..... *formosofasciolatus* sp. nov.
9. Antennal 3rd segment slightly longer than 4th (*Pseudocentrus*)..... 10
- Antennal 3rd segment fairly longer than 4th 11
10. Prothorax dark brown; elytra testaceous, without any stripe, or band, or distinct spot, with compar-
atively short but thick bristles, each arranged in seven longitudinal rows *immaculatus*
- Prothorax red; elytra largely blackish, with obscure longitudinal rows of faint whitish pubescent
spots, and with very thin and rather long bristles, each arranged in eleven longitudinal
rows *rufithorax*

11. Elytra irregularly punctate (*Formosexocentrus*); with marble pattern of white pubescence on basal half and a narrow waved transverse band behind middle; fourth to tenth antennal segments ringed with whitish pubescence at bases.....*variepennis*
- Elytra seriatly punctate except for sutural 1/3 (*Oligopsis*).....12
12. Prothorax less than twice as broad as long, lateral tubercle directed straight backward; elytra with each twelve longitudinal stripes of isolated yellowish grey pubescent spots on basal half and nine on apical half, arranged in fourteen longitudinal rows of bristles; 1st to 8th antennal segments more or less ringed with greyish pubescence at bases
.....*alboguttatus taiwanensis* subsp. nov.
- Prothorax nearly twice as broad as long, lateral tubercle directed obliquely backward; elytra with each seven to eight longitudinal stripes of subseriate spots of yellowish grey pubescence on basal half and four or five from 1/3 to near apex, arranged in ten longitudinal rows of bristles; antennal segments hardly ringed.....*seriatomaculatus*

Acknowledgements

The authors wish to express their hearty gratitude to Dr. K. KINUGASA and Messrs. K. AKIYAMA, H. FUJITA, S. FUKUDA, J. ITO, T. KOBAYASHI, M. KUBOTA, K. MATSUKI, T. MATSUMOTO, H. NARA, T. SHIMOMURA, W. SUZUKI, S. TSUYUKI and N. YAMAMOTO for their kind help in obtaining the valuable specimens used in this study.

摘 要

従来台湾から発表されていた *Exocentrus* 属は6種であったが、今回新たに6新種1新亜種を記載追加して、計13種の検索表を示すと共に、6新亜属を認めた。なお、既知6種のうち、1種の個体を見ることができなかった。

(1) 新亜属 *Bicolorihirtus* の創設；次の新種を本亜属の模式種とする。

(1') 新種 *E. (Bicolorihirtus) venatooides* (クモノスモンケンシカミキリ) (Fig. 1)。原産地：南投県梅峰。この付近でのみ採集されており個体数は少ないようである。

(2) *E. (Exocentrus) brevisetosus* GRESSITT (Fig. 2)。原産地は南投県埔里近傍。桃園県巴稜、南投県南山溪などに産するが多くない。

(3) 新種 *E. (Exocentrus) kentingensis* (クロオビケブトケンシカミキリ) (Fig. 3)。原産地：屏東県墾丁公園。約120頭すべてが公園付近でのみ採集されており、3月末から4月にかけては個体数が多いようである。

(4) 新種 *E. (Exocentrus) nanshanensis* (ナンシャンウスオビケンシカミキリ) (Fig. 4)。原産地：南投県南山溪。その他蓮華池。日月潭などに普通。

(5) 新種 *E. (Exocentrus) fulvobrunneus* (キチャマダラケンシカミキリ) (Fig. 5)。南投県蘆山温泉での2♂のみ。

(6) *E. (Exocentrus) savioi* PIC (サビオケンシカミキリ) (Fig. 6)。南投県蘆山温泉での1♂を検したのみ。

(7) 新種 *E. (Camptomyne) formosofasciatus* (タイワンクモガタケンシカミキリ) (Fig. 7)。原産地：南投県南山溪。その他松崗、梅峯、翠峰、蘆山温泉などすべて南投県で採集。

(8) 新種 *E. (Camptomyne) pseudovariepennis* (ニセモンマダラケンシカミキリ) (Fig. 8)。原産地：南投県蘆山温泉。その他同県蓮華池、南山溪、高雄県六龜にやや普通に産する。SCHWARZER のモンマダラケンシカミキリ の原記載に比較的よく一致し、従来その種として同定されていた。

(9) *E. (Pseudocentrus) immaculatus* GRESSITT (ムモンケンシカミキリ) (Fig. 9)。原産地は屏東県龜仔角 (Kururu)。南山溪で採集された1♀を検したのみ。

(10) *E. (Pseudocentrus?) rufithorax* GRESSITT (アカクビケンシカミキリ) (Fig. 10)。模式標本は宜蘭県壁南の標高1700m付近での採集品で、今回検した2個体も1700m以上の南投県幼獅(二見晴)。同県梅峯での採集品である。本種は触角第3節と第4節の比からすると現在所属

している亜属については疑問である。

⑪ *E. (Formosocentrus) variepennis* SCHWARZER (モンマダラケシカミキリ)。原産地は屏東県港口。BREUNING は本種を模式種として1958年に新亜属 *Formosocentrus* を創設しているが、筆者らはBREUNING の記述に該当する標本を検査することができなかった。

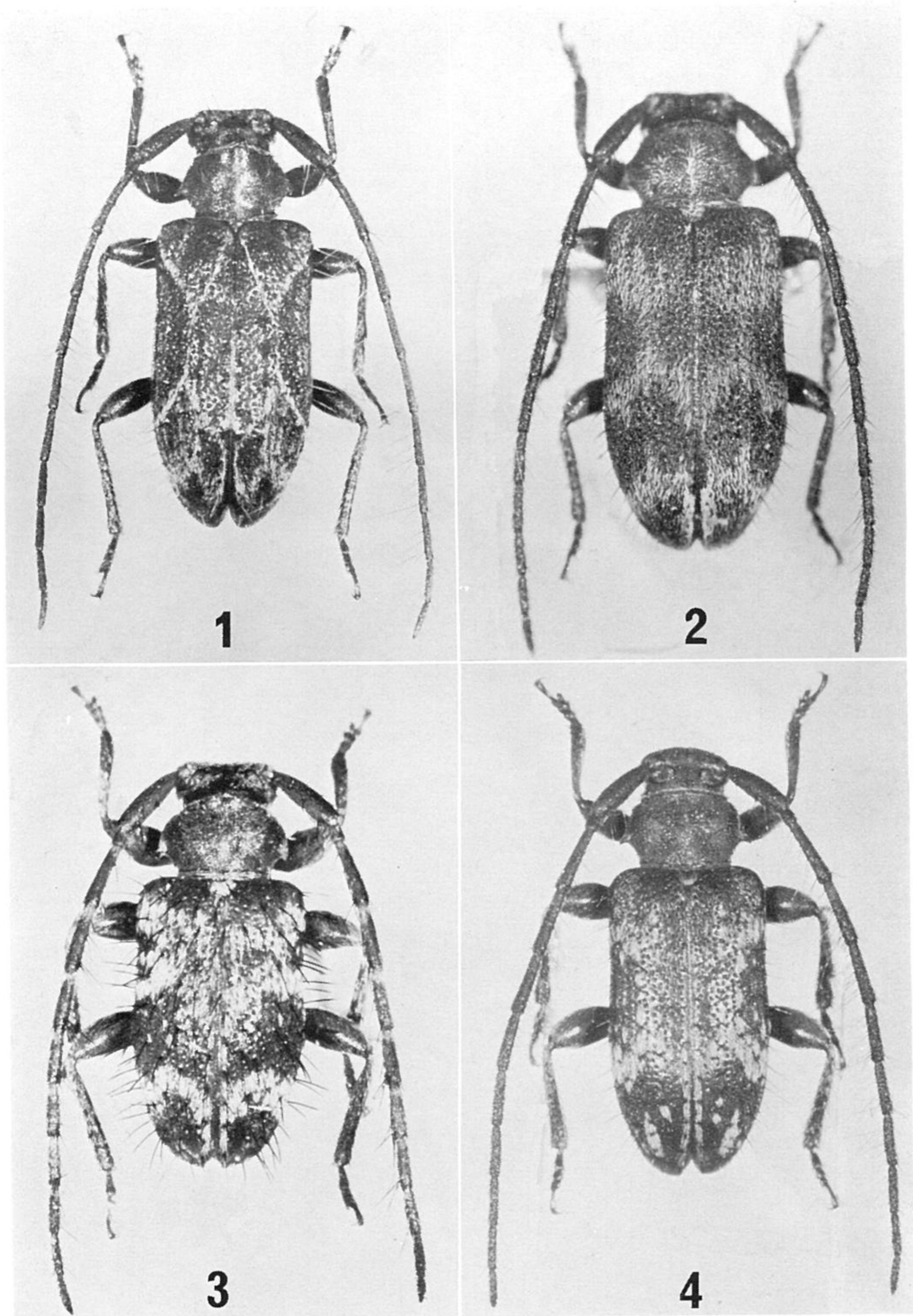
⑫ 新亜種 *E. (Oligopsis) alboguttatus taiwanensis* (タイワンシラオビケシカミキリ) (Fig. 11)。原産地：高雄県六龟。東南アジアから海南島、中国大陆に広く分布する *E. alboguttatus* FISHER の亜種として記載した。BREUNING は *alboguttatus* を日本の *E. (Pseudocentrus) guttulatus* BATES (Fig. 13) の亜種にしていたが、筆者らが検討を重ねた結果、再び FISHER

の原記載通りに独立種に戻し、かつ *Pseudocentrus* 亜属から *Oligopsis* 亜属に移した。また、亜種として GRESSITT により記載された *subconjunctus* は、その後 BREUNING により *guttulatus* の亜種に変更されたが、ここで再び原記載通りに戻した。さらに *guttulatus* の変種として記載され、後に同亜種に昇格した *subsp. obscurior* も新たに *alboguttatus* の亜種とし、同じく *guttulatus* の変種 *var. rufescence* を *obscurior* のシノニムとした。

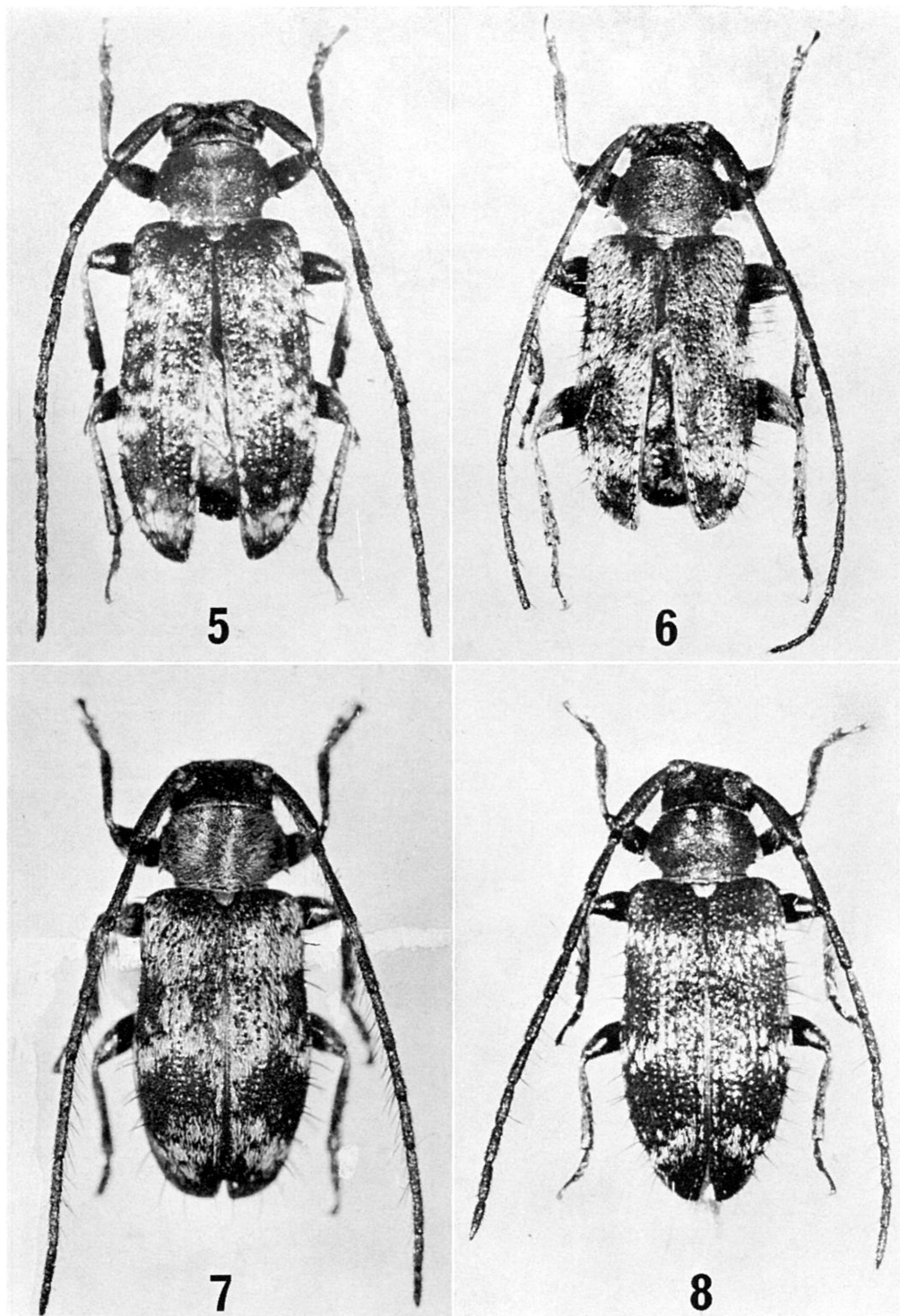
⑬ *E. (Oligopsis) seriatomaculatus* SCHWARZER (タイワンアトモンマルケシカミキリ) (Fig. 12)。原産地は屏東県港口。台湾産 *E. xocentrus* 属中もっとも個体数が多い種で南投県や高雄県六龟などに産する。

台湾産アラゲケシカミキリ属の検索表

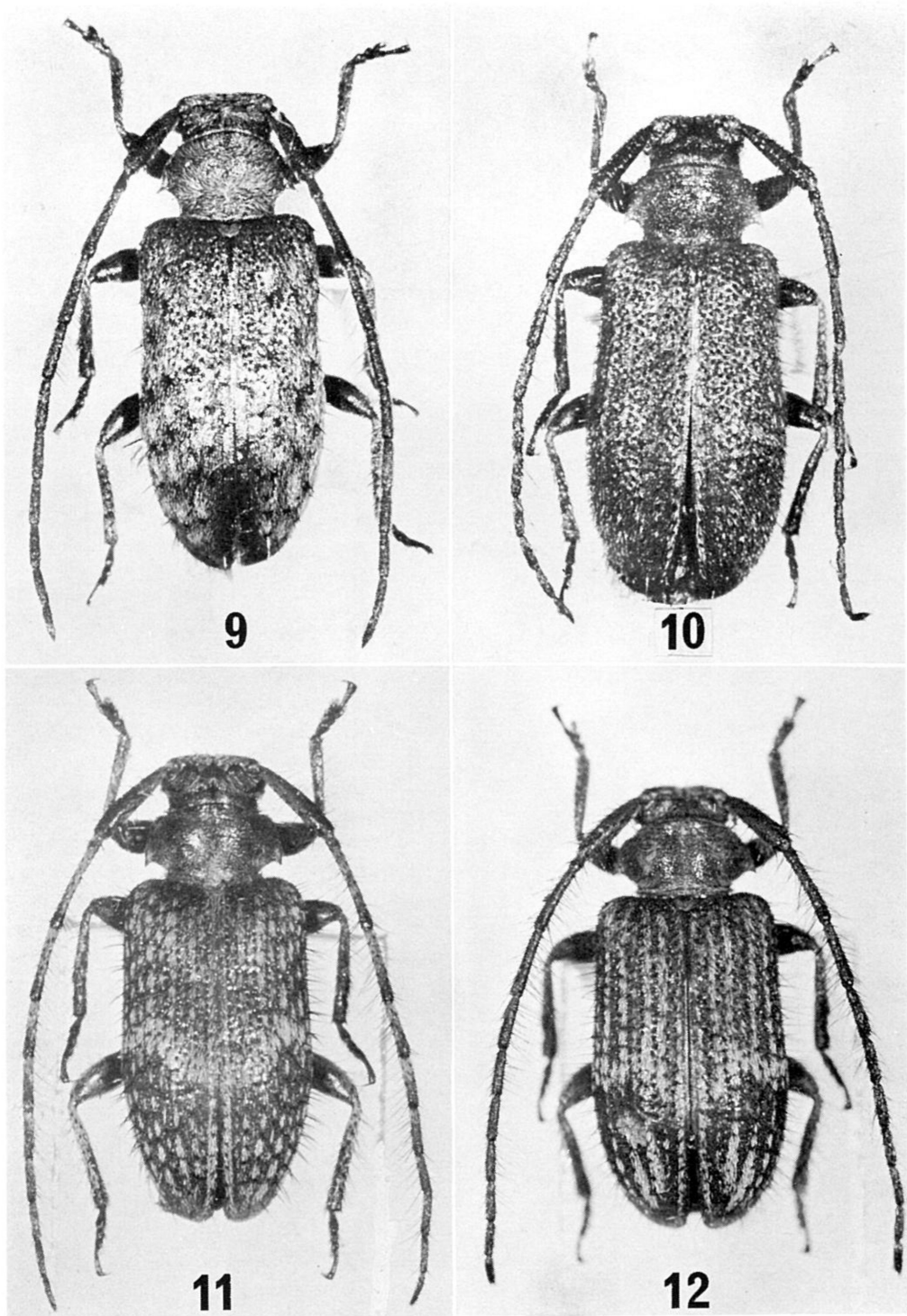
- | | |
|--|---|
| 1. 触角第3節は第4節とほぼ等長…………… 2 | 8. 鞘翅は弱い光沢が有り、基部 $\frac{1}{3}$ 付近、中央後方、および鞘翅端近くに3本の細い白色横帯を有する、黴毛は太くて長い…………… <i>pseudovariepennis</i> sp. nov. |
| 一. 触角第3節は第4節より長い…………… 9 | 一. 鞘翅は光沢なく、3本の横帯も欠く、灰黄色の微毛でおおわれるが、基部、両側中央前、翅端 $\frac{1}{3}$ 付近、および翅端ではその微毛を欠き黒褐色を呈する、剛毛は太くて短い…………… <i>formosofasciulatus</i> sp. nov. |
| 2. 鞘翅は不規則に点刻される…………… 3 | 9. 触角第3節は第4節よりもわずかに長い (<i>Pseudocentrus</i>) 10 |
| 一. 鞘翅は縫合線付近の $\frac{1}{3}$ を除き列状に点刻され、各鞘翅には7列の剛毛縦列を有する (<i>Camptomys</i>)…………… 8 | 一. 触角第3節は第4節よりかなり長い…………… 11 |
| 3. 表面には白色および黒色の2色の長毛あるいは剛毛を装い (<i>Bicolorihirtus</i>)、各鞘翅では背面に4列の黒色剛毛縦列および側面に2列の白色長毛縦列の計6列の縦列を形成する；鞘翅は暗赤褐色で、基部後方および中央後方に細いジグザグの黄白色横帯を有する…………… <i>venatoides</i> sp. nov. | 10. 前胸背は暗褐色；鞘翅は赤褐色で白色微毛から成る縦条、横帯、および明瞭な小斑は欠く、剛毛は比較的短いが高くて、各鞘翅では7列の縦列を形成する…………… <i>immaculatus</i> |
| 一. 表面には1色の剛毛あるいは長毛を有し、各鞘翅では8列の剛毛縦列を形成する (<i>Exocentrus</i> s. str.)…………… 4 | 一. 前胸背は赤色鞘翅は大部分黒色、白色微毛から成る不明瞭な小斑縦列を有する、剛毛は長くて非常に細く、各鞘翅では10列の縦列を形成する…………… <i>rufithorax</i> |
| 4. 鞘翅には白金色縦毛から成る亀甲状紋様を有し、剛毛は非常に短い…………… <i>brevisetosus</i> | 11. 鞘翅は不規則に点刻され (<i>Formosocentrus</i>)、基半には大理石模様を、中央後方には波形の細い横帯を有する；触角第4節ないし第10節の基部は白色微毛で飾られる…………… <i>variepennis</i> |
| 一. 鞘翅には亀甲状紋様を有しない…………… 5 | 一. 鞘翅は縫合線付近の $\frac{1}{3}$ を除き列状に点刻される (<i>Oligopsis</i>)…………… 12 |
| 5. 鞘翅は非常に太くて長い剛毛を具え、基部、中央部、および翅端付近の黒褐色部を除き灰白色微毛で不規則におおわれる；前胸側縁突起は肩部に向く…………… <i>kentingensis</i> sp. nov. | 12. 前胸背の幅は長さの2倍未満、側縁突起は真後ろを向く；各鞘翅は基半に12列、後半に9列の灰黄色微毛から成る孤立した小斑縦列を装い、さらに14列の剛毛縦列を具える；触角第1節ないし第8節の基部は多少とも灰黄色微毛で飾られる…………… <i>alboguttatus taiwanensis</i> subsp. nov. |
| 一. 鞘翅はやや細い剛毛を具える…………… 6 | 一. 前胸背の幅は長さのほぼ2倍、側縁突起は斜め後方を向く；各鞘翅は基半に7あるいは8列、翅端 $\frac{1}{3}$ から翅端近くにかけて4あるいは5列の灰黄色微毛から成る部分的に連続した小斑縦列を装い、さらに10列の剛毛縦列を具える；触角各節は灰黄色微毛ではほとんど飾られない…………… <i>seriatomaculatus</i> |
| 6. 前胸背は前縁および中央部を除き暗赤色；鞘翅の地色は暗褐色で不規則な黄褐色部を基部後方から中央にかけて有し、その部分は明るい黄白色の微毛を装う、剛毛は細くてやや短い…………… <i>fulvobruneus</i> sp. nov. | |
| 一. 前胸背は大部分黒褐色；鞘翅の地色は一樣に暗褐色を呈する…………… 7 | |
| 7. 鞘翅は黄金色微毛から成る2本の不規則な横帯および部分的に縦に並んだいくらかの小斑を装う、剛毛は細くて長い…………… <i>nanshanensis</i> sp. nov. | |
| 一. 鞘翅は多少とも淡黄色微毛でおおわれ、褐色の小斑および中央後方にやや不完全な同色の横帯を形成する、剛毛はやや太くてかなり長い…………… <i>savioti</i> | |



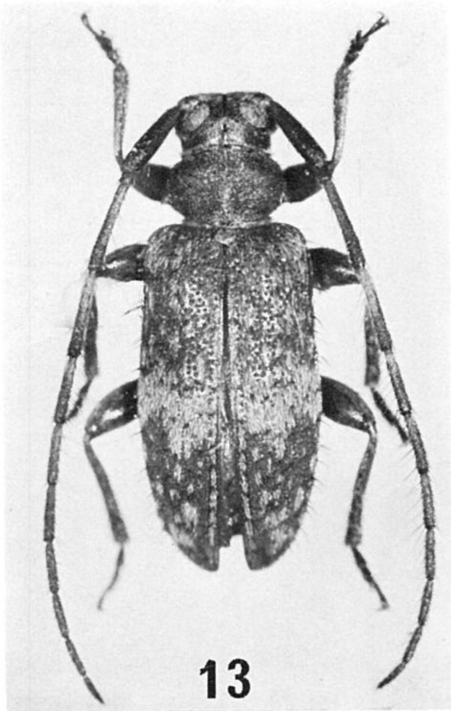
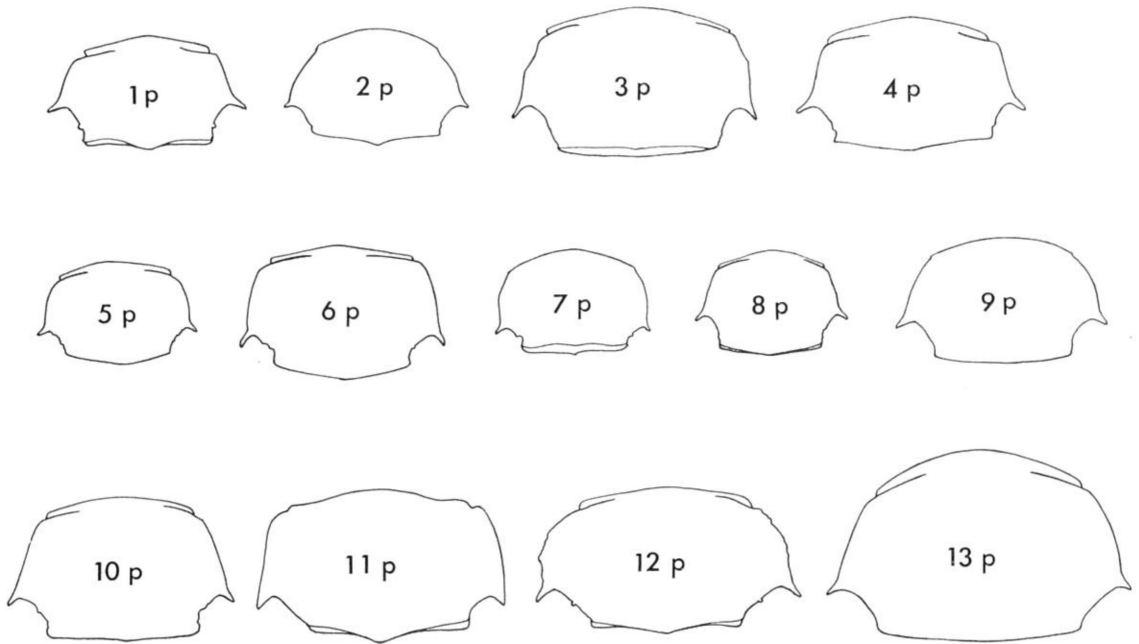
1. *Exocentrus* (*Bicolohirtus* subgen. nov.) *venatoides* sp. nov., ♂, holotype.
2. *E. (Exocentrus) brevisetosus* GRESSITT, ♀, 26. V. 1976, Palin.
3. *E. (Exocentrus) kentingensis* sp. nov., ♂, holotype.
4. *E. (Exocentrus) nanshanensis* sp. nov., ♂, holotype.



5. *E. (Exocentrus) fulvobrunneus* sp. nov., ♂, holotype.
6. *E. (Exocentrus) savioi* PIC, ♂, 1-2.V.1973, Roshan.
7. *E. (Camptomyne) fromosofasciolatus* sp. nov., ♀, holotype.
8. *E. (Camptomyne) pseudovariepennis* sp. nov., ♂, holotype.



9. *E. (Pseudocentrus) immaculatus* GRESSITT, ♀, 8.V.1976, Nanshanchi.
10. *E. (Pseudocentrus?) rufithorax* GRESSITT, ♀, 18.IV.1967, Yushih.
11. *E. (Oligopsis) alboguttatus taiwanensis* subsp. nov., ♀, holotype.
12. *E. (Oligopsis) seriatomaculatus* SCHWARZER, ♀, 8.V.1977, Nanshanchi.



- 1p. *E. (Bicolorhirtus* subgen. nov.) *venatoides* sp. nov., ♂, prothorax.
 2p. *E. (Exocentrus) brevisetosus* GRESSITT, ♀, prothorax.
 3p. *E. (Exocentrus) kentingensis* sp. nov., ♀, prothorax.
 4p. *E. (Exocentrus) nanshanensis* sp. nov., ♀, prothorax.
 5p. *E. (Exocentrus) fulvobrunneus* sp. nov., ♂, prothorax.
 6p. *E. (Exocentrus) savioi* PIC, ♂, prothorax.
 7p. *E. (Camptomyne) formosofasciolatus* sp. nov., ♀, prothorax.
 8p. *E. (Camptomyne) pseudovariepennis* sp. nov., ♂, prothorax.
 9p. *E. (Pseudocentrus) immaculatus* GRESSITT, ♀, prothorax.
 10p. *E. (Pseudocentrus?) rufithorax* GRESSITT, ♂, prothorax.
 11p. *E. (Oligopsis) albuguttatus taiwanensis* subsp. nov., ♀, prothorax.
 12p. *E. (Oligopsis) seriatomaculatus* SCHWARZER, ♀, prothorax.
 13p. *E. (Pseudocentrus) guttulatus* BATES, ♀, prothorax.
 13. *E. (Pseudocentrus) guttulatus* BATES, ♂, 29.VI.1977, Okuizumi, Shizuoka Pref. Japan.

**A New Species of the Genus *Pidonia*
from Shikoku, Japan (Coleoptera, Cerambycidae)**

By **Mikio KUBOKI**

Entomological Laboratory, Tokyo University of Agriculture, Sakuragaoka,
Setagaya-ku, Tokyo 156, Japan

四国産ヒメハナカミキリ属の1新種

窪木幹夫

(Received and Accepted Mar. 30, 1978)

I describe one new species based on the specimens sent to me by Mr. Ryûichi SHIMAMOTO to whom I wish to express my cordial gratitude for his offering specimens.

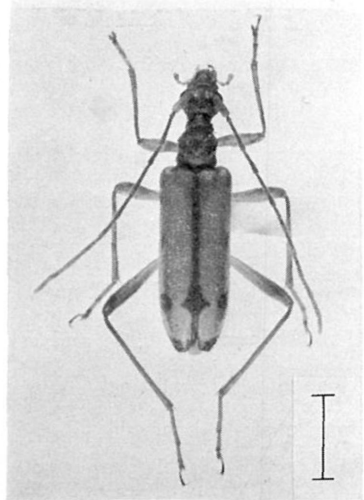
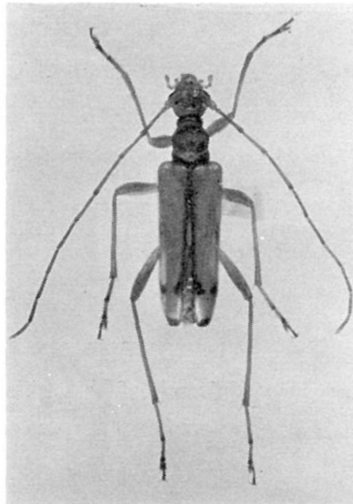
***Pidonia (Pidonia) leucanthophila* M. KUBOKI sp. nov.**

(Japanese name: Mahoroba-hime-hana kamikiri)

Body relatively medium to large, elongate and furnished with fine pale fulvous pubescence.

Length: 8.2–9.4 mm (male), 8.5–9.9 mm (female); breadth: 1.9–2.4 mm (male), 2.1–2.6 mm (female).

Color. Body yellowish to black; head reddish fulvous with blackish vertex and tempora; mouthparts fulvous except for reddish brown apex of each mandible; eyes black; first and second antennal segments largely fulvous, third to eleventh segments infuscated; prothorax black, broadly margined with reddish fulvous; legs brownish yellow with infuscated apices of tarsi; scutellum black; elytra yellowish fulvous with black markings; ventral surfaces of head, thorax and abdomen largely reddish fulvous; breast darkened in both sexes and base of first to third each sternite of male darkened. Elytral markings constant and similar to each other in both sexes; basal marking narrowly present, transversely prolonged towards shoulders, terminated at the median point of each elytron, sutural marking narrowly present, terminated at the point of apical one-fifth of elytron, its apex enlarged transversely, humeral marking entirely lacking, latero-basal marking



***Pidonia leucanthophila* sp. nov. ♂ (left), ♀ (right). Scale: 3 mm.**

small and elongate, latero-median marking small and elongate (male) or oblong (female), latero-posterior marking present, usually the largest among the lateral three markings, rarely transversely combining with the apex of sutural marking, apical band strongly developed.

Structure. Head subquadrate and a little broader across eyes than basal width of prothorax; tempora relatively small, convergent, gently constricted at neck, almost impunctate and shining, beared with comparatively long hairs; frons subvertical and transverse, bearing a fine but conspicuous median longitudinal furrow extending backwards to near vertex; antennal tubercles raised; vertex coarsely punctured, covered with subpressed pubescence; occiput finely punctured. Eyes prominent, moderately faceted, emarginate at middle of internal margin. Antennae slender, inserted just behind level across frontal margin of eyes, distinctly exceeding apical end of body (male) or barely attaining elytral apex (female); scape distinctly dilated towards apex, finely punctate, thinly clothed with appressed pubescence, second segment longer than broad, third segment slightly longer than first and second taken together, slightly (male) or distinctly (female) longer than fourth, fifth segment the longest, following segments successively shorter to eleventh which is slightly longer than tenth, segments slightly enlarged at apex.

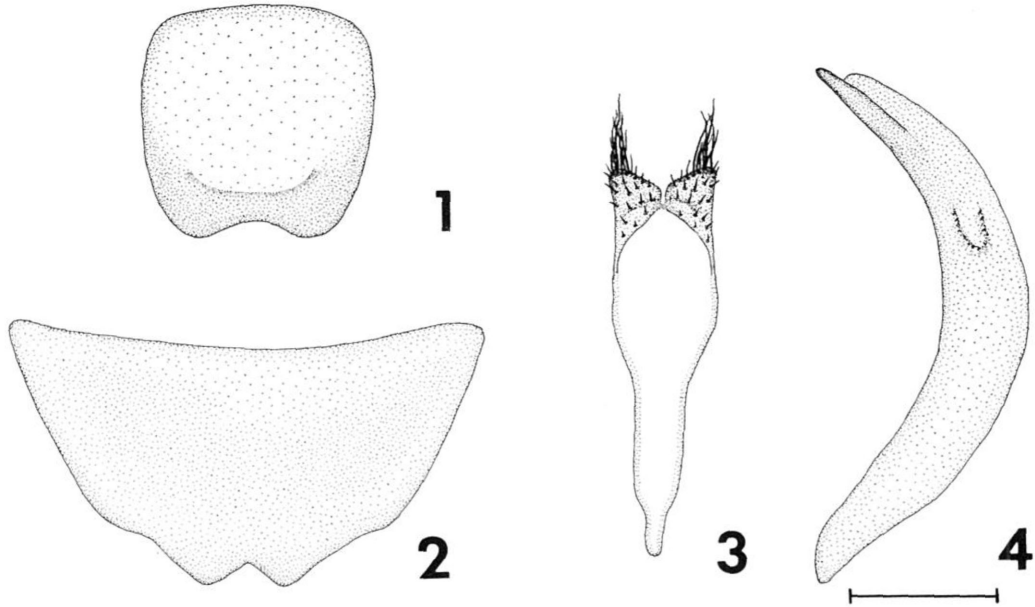
Prothorax distinctly longer than basal width, deeply constricted both behind apex and before base, rather angularly prominent laterally just before middle; the breadth across the prominent portions being a little broader than basal width; apical margin obviously narrower than basal margin; disk convex above, finely and closely punctate, sparsely clothed with fine, short, appressed pubescence; scutellum small and triangular, slightly longer than breadth, bearing thin pubescence on the surface; prosternum shining, almost glabrous; meso and metasternum densely punctate, thinly clothed with fine appressed pubescence.

Elytra elongate, about 2.7 times (male) or about 2.6 times (female) as long as basal width, gradually narrowed posteriorly (male) or almost parallel-sided (female), and subtruncate at apices; surface coarsely punctate and sparsely suberectly pubescent; interspace between punctures narrower than the diameter of each puncture.

Legs relatively slender; femora weakly clavate, clothed with appressed short pubescence; hind femora not reaching elytral apex in both sexes; tibiae linear, clothed with suberect short pubescence; tarsi densely clothed with short pubescence on under surface, first segment of metatarsus distinctly longer than the following two taken together, third segment strongly dilated apically and deeply emarginate at middle of apex.

Abdomen elongate and gradually convergent towards apex; surface of each sternite densely covered with extremely fine pubescence; in male, fifth visible sternite triangularly emarginate at middle of hind margin (Fig. 2), last visible tergite rotundately emarginate at middle of hind margin (Fig. 1); in female, fifth visible sternite and last visible tergite simple.

Male genital organ moderately sclerotized, small sized; median lobe relatively short, weakly



Figs. 1-4. *Pidonia leucanthophila* sp. nov. ♂. — 1. Last visible tergite. — 2. Fifth visible sternite. — 3. Lateral lobes, ventral view. — 4. Median lobe, lateral view. Scale: 0.3 mm.

curved ventrally and acutely pointed at apex (Fig. 4); lateral lobes shorter than median lobe, narrowly separated from each other in apical half; each apex obliquely truncate and with long, many terminal hairs (Fig. 3).

Type-series. Holotype: ♂, 12. VII. 1976, Mt. Higashi-Akaishi (about 1,360 m in alt.), Ehime Prefecture, R. SHIMAMOTO leg. Paratypes: 1♂, 3♀♀, same data as the holotype; 12♂♂, 5♀♀, 2-3. VII. 1977, Mt. Higashi-Akaishi (1,210 to 1,480 m in alt.), R. SHIMAMOTO leg.

The holotype is preserved in the collection of Entomological Laboratory of Tokyo University of Agriculture. Paratypes are deposited in writer's collection.

Distribution. Shikoku.

Flight period. July.

This species can be easily distinguished from all the other species of the genus by the following characters: Basal marking narrowly present, transversely prolonged towards shoulders, terminated at the median point of each elytron; apex of lateral lobes obliquely truncate and with long many terminal hairs.

This species was collected from flowers of *Stephanandra incisa* (Thunb.) Zabel. and *Symplocos chinensis* Druce.

摘 要

四国の東赤石山(愛媛県)から採集された標本に基づき、ヒメハナカミキリ属の1新種 *Pidonia leucanthophila* sp. nov. を記載した。上翅の斑紋は雌雄よく似ており、肩紋を欠き、基縁条紋が上翅の前縁に沿って中央部まで

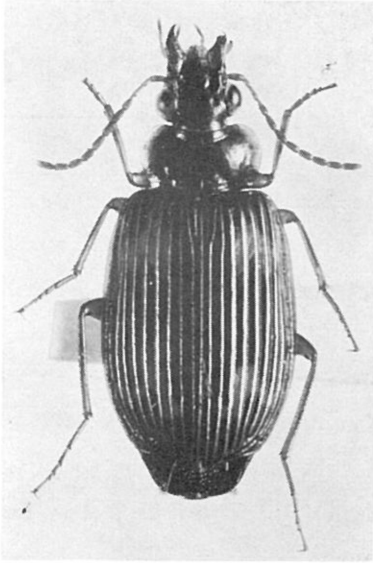
広がる。また、雄の交尾器が小型で、側片葉状部の先端が斜めに切断され、多数の長毛を有する点が特徴である。なお、本種は四国の中山帯に生息し、東赤石山では、コゴメウツギ、サワフタギの花から採集されている。

稿 KŌCHŪ 虫

ヒメキノコゴミムシの北限記録

小田 義広

ヒメキノコゴミムシ *Coptoderina osakana* NAKANE, OHKURA et S. UENO は従来、関西方面で数頭が得られているにすぎなかったが、筆者は山梨県の日野春で本種を採集しているので、北限記録として報告しておく。



1 ex., 山梨県日野春, 15. Ⅷ. 1977

夜間、クスギの樹幹を這っていたもので、同時にキノコゴミムシ *Lioptera erotyloides* BATES も1頭採集している。

(〒253-01 神奈川県高座郡寒川町倉見)

ナガサキクビナガゴミムシを佐賀県で採集

深町 宗通

ナガサキクビナガゴミムシ *Eucolliuris litura* (SCHMIDT-GOEBEL) は、一見同属の *E. fuscipennis fuscipennis* によく似るが、頭部は複眼の後方で左右に膨隆し、前頭の点刻はより大きく、また、複眼後縁を結ぶ線より後方にも点刻をもつことなどで容易に区別できる。

わが国では、1883年に BATES が長崎より記録したが、その後現在にいたるまで記録を聞かない。

筆者は佐賀県小城郡小城町で、灯火に飛来した本種を得ているので報告しておきたい。

1 ex., 佐賀県小城郡小城町, 28. Ⅷ. 1977

(〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

北海道における

キバナガミズギワゴミムシの採集記録

井上 寿

キバナガミズギワゴミムシ *Armatocillenus yokohamae* BATES は、従来本州・四国および九州に分布し、特に太平洋に注ぐ大きい河川の河口付近に生息していることが報告されている。筆者は北海道中川郡豊頃町の太平洋に面する十勝川河口の泥土上において本種を採集したが、日本における北限記録と思われるのでここに報告する。

2 exs., 中川郡豊頃町大津, 17. Ⅷ. 1977

22 exs., 同上, 31. Ⅷ. 1977

7月17日における本種の生息地は、水際に近い泥土上で、雑草がまばらに生えている所であった。7月31日は草がまったく生えていない泥土上で、当日は高温(30°Cを越えた)であったせいか、活動中のものは1頭のみで、他はすべて流木下の水棲動物があけた直径3~4 mmの垂直な穴の中に潜んでいた。高温をさけての行動と思われる。

なお、得られた24頭は、いずれも上翅前部の黄褐色紋がほとんど消失した個体であった。

(〒082 北海道河西郡芽室町新生)

北海道立十勝農業試験場専技室)

北海道におけるトビミズギワゴミムシ

亜属2種の生態について

井上 寿

トビミズギワゴミムシ亜属 *Cylindrobracteon* はわが国から2種が知られている。北海道においても、コホソトビミズギワゴミムシ *Bembidion(C.) aeneipes* BATES とホソトビミズギワゴミムシ *B.(C.) chloropus* BATES の両種が分布しているが、採集記録はいずれも比較的少ない。道内における両種の生態を報告しておきたい。

前種は内陸の平坦地の河原や海岸の湿った砂地に普通に生活していて、早春より出現するが、9月上旬頃にはこれらの場所から付近のやや乾燥した所に移動する。歩行はきわめて早く、また日中の高温時にはよく飛翔するので捕えることは容易ではないが、低温曇天の日を選ぶと2、3頭から5、6頭が集合している場合があるので

比較的採集しやすい。

後種は今まで採集例が少なかったが、1977年8月中旬に北海道網走市能取岬近くの海に注ぐ小川の湿った砂地において、局部的に群棲する場所をみつけた。採集した当日は気温が高かったせいか、逃げられる個体が多く、わずかに31頭しか得られなかったが、ここではコホソトビミズギワゴミムシは1頭も採集できなかった。両種にはあるいは住み分けができていのかかもしれない。コホソトビミズギワゴミムシに比較して、ホソトビミズギワゴミムシは、より海浜性を有する種類ではないかと考えられる。

(〒082 北海道河西郡芽室町新生
北海道立十勝農業試験場専技室)

フチトリヒメヒラタタマムシの 本州における採集例

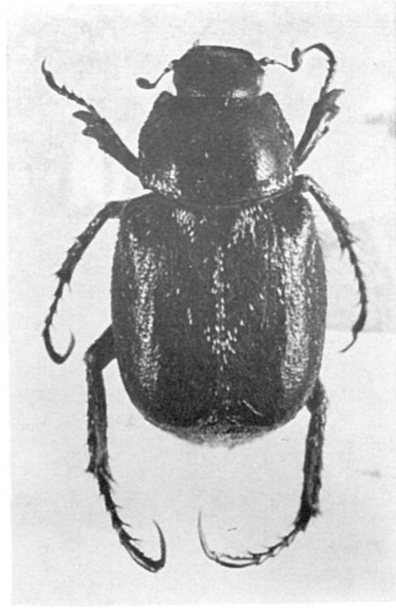
藤田 宏

フチトリヒメヒラタタマムシ
Anthaxia (Haplanthaxia) rubromarginata MIWA et CHUJŌ
は北海道・本州・九州・対馬・朝鮮・シベリア東部(ウスリー)における分布が知られているが、日本では稀な種で、特に本州における記録はわずかなものと思われるので、筆者の手元の記録を報告しておく。

1ex., 福島県南会津郡湯の花,
16. Ⅶ. 1974, 小林敏男採集

広葉樹伐採枝のピーティングで採集されたとのことである。貴重な標本を恵与された小林敏男氏に感謝したい。

(〒110 台東区台東 2-29-6)



を設立した(昆虫学評論, 29(1/2), pp. 59~61, 1968)。たしかに、前肢・前胸背側縁の刺毛列・後肢第5付節の下面の小歯などを比較観察すれば、*moerens* m. および *moerens ohbayashii* と *hakonensis* とははっきりした違いをもっているので、*hakonensis* は *moerens* の var. または ssp. ではなく、独立種とした野村氏の考えが妥当と思われる。

さらに前記論文の中で野村氏は、*H. hakonensis* の産地として箱根仙石原・箱根・神山をあげ、「本種の産地は目下のところ、箱根付近に限られているが、伊豆半島に本種やイノウエスジコガネ *Anomala inouei*^{注1)} のような固有種を産することは分布上興味深いことである」とのべている。

野村氏のあげた3ヶ所の産地の中の「箱根」がどこをさすのか不明確ではあるが、いずれも箱根外輪山の内側と考えるとすれば、続く文章からみて、野村氏は箱根を伊豆半島に含めて考えているようである。

伊豆半島を考える時に、箱根地方までを含めるか否かは、かなり難しい問題である^{注2)}。そこで筆者は、これに深入りすることをしないで、より明瞭な伊豆半島におけるハコネアシナゴコガネの産地を探してみたが、文献の中に見つけることはできなかった。ところが、幸いにも今回下記のように本種を採集することができたので、伊豆半島における初記録として報告しておく。

1♀, 静岡県伊豆・天城峠, 16. Ⅶ. 1977,

石田正明採集

本個体と箱根(駒ヶ岳・神山)産の個体と比較してみたところ、箱根産のやや小型で背面に鱗片の少ない個体

ハコネアシナゴコガネを伊豆・天城峠で採る

石田 正明

ハコネアシナゴコガネは沢田玄正博士により、クロアシナゴコガネ *Hoplia moerens* WATERHOUSE の var. として記載され、模式産地は箱根仙石原(holotype・allotype・paratype)および赤城山・魚岩留・蓼科・万座温泉・富士山・日光・諏訪東俣などがあげられた(日本の甲虫, 2(1), p.39, 1938)。

野村鎮氏はこれについて、holotype を含む箱根産のものを独立種と認め *Hoplia hakonensis* SAWADA とし、他の産地のものを *H. moerens ohbayashii* として新亜種

とよく一致した。このような個体は箱根においては出現率は低いようである。

これによって、ハコネアシナガコガネ・イノウエスジコガネの2種がともに、箱根地方と伊豆半島に産することになり、しかも他地方からは未見であるということになった。このようにコガネムシ科の個有種が2種あるということは、野村氏のいわれるように分布上興味深いことである。

注1) イノウエスジコガネは *Mimela inouei* として扱われることもある。現在まで知られている産地は下記のとおり。

1. 静岡県大滝温泉(模式産地)(野村, 昆虫学評論, 19(2), p. 56, 1967)
2. 静岡県伊豆・達磨山(石田, 月刊むし, 21号, p. 9, 1972)
3. 神奈川県仙石原(野村・小林, 昆虫学評論, 29(1/2), p. 41, 1976)
4. 静岡県伊豆・天城峠, 18巻, 16. Ⅶ. 1977, 石田・庄田採集(新記録)

注2) 箱根火山と伊豆半島との関係、さらにこの両者と伊豆諸島との関係については、生物地理学的に探究する方向と地学的に探究する方向とを合わせ用い、これを重ね合わせて考える必要があると思われる。

(〒168 杉並区宮前 3-23-5)

利尻島 6 月下旬のハムシ

今坂 正一

1975年6月26~28日の間、北海道宗谷支庁の利尻島で採集する機会を得た。3日間共小雨まじりの天候で気温も13~20°Cと低く虫の姿はあまり見られなかったが、この頃同地へ採集に訪れる人も少ないと思われるので、ハムシ科の採集品を報告しておく。

1. *Smaragdina aurita* (LINNAEUS)
キボシルリハムシ
3 exs., 鴛泊, 26. Ⅶ; 6 exs., 利尻岳, 28. Ⅶ
2. *Cryptocephalus nitidulus* FABRICIUS
1 ex., 利尻岳, 28. Ⅶ
3. *C. pumilo* SUFFRIAN
アイヌツツハムシ
2 exs., 鴛泊, 26. Ⅶ; 6 exs., 利尻岳, 28. Ⅶ
4. *Basilepta balyi* (HAROLD)
チャイロサルハムシ
17 exs., 姫沼, 27. Ⅶ
5. *Bromius obscurus* (LINNAEUS)
フキサルハムシ
1 ex., 利尻岳, 28. Ⅶ
6. *Syneta adamsi* BALY
カバノキハムシ
21 exs., 利尻岳, 28. Ⅶ
7. *Pyrrhalta lineola* (FABRICIUS)

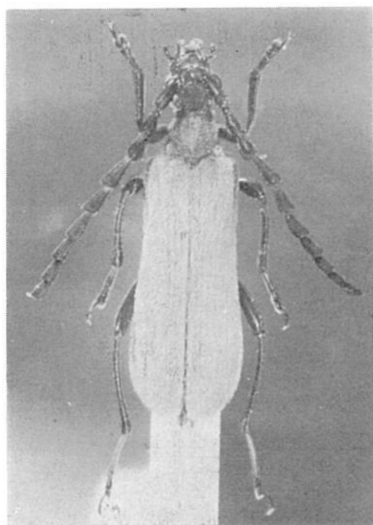
- ハンバミハムシ
6 exs., 鴛泊, 26. Ⅶ; 20 exs., 利尻岳, 28. Ⅶ
8. *Galerucella grisescens* (JOANNIS)
イチゴハムシ
1 ex., 鴛泊, 26. Ⅶ
 9. *Fleutiauxia armata* (BALY)
クワハムシ
1 ex., 鴛泊, 26. Ⅶ; 1 ex., 姫沼, 27. Ⅶ
 10. *Stenoluperus nipponensis* (LABOISSIERE)
ヒゲナガウスバハムシ
18 exs., 鴛泊, 26. Ⅶ; 2 exs., 姫沼, 27. Ⅶ; 27 exs., 利尻岳, 28. Ⅶ
 11. *Luperus viridipennis murakamii* KIMOTO
ムナキホソヒゲナガハムシ
1 ex., 姫沼, 27. Ⅶ
 12. *Agelasa nigriceps* MOTSCHULSKY
キクピアオハムシ
2 exs., 鴛泊, 26. Ⅶ; 4 exs., 利尻岳, 28. Ⅶ
 13. *Gallerucida bifasciata* MOTSCHULSKY
イタドリハムシ
11 exs., 鴛泊, 26. Ⅶ; 5 exs., 姫沼, 27. Ⅶ
 14. *Aphthona perminuta* BALY
ツブノミハムシ
7 exs., 鴛泊, 26. Ⅶ; 3 exs., 姫沼, 27. Ⅶ; 12 exs., 利尻岳, 28. Ⅶ
 15. *Crepidodera japonica* BALY
ミドリトビハムシ
14 exs., 鴛泊, 26. Ⅶ; 5 exs., 姫沼, 27. Ⅶ
 16. *Chaetocnema concinna* (MARSHALL)
3 exs., 利尻岳, 28. Ⅶ
- 以上16種のうち、*C. nitidulus* は H. TAKIZAWA (1975)¹⁾ によって北海道と利尻島の分布が報告されたばかりである。平安高校生物部の報告(1976)²⁾にはこの種(*C. approximatus* として記録)を含めて、利尻島産ハムシ48種が記録されている。
- 今回、イチゴハムシ・キクピアオハムシ・イタドリハムシの3種が新たに追加されたことになる。

- 1) H. TAKIZAWA (1975): Kontyū, Tokyo, 43(4), pp. 422~436
- 2) T. KISHII (1976): The Bulletin of the Heian High School, (20), pp. 57~60, pp. 77~91

(〒855 島原市白土町 1064)

沖縄本島でアマミアカハネハナカミキリを採集 豊嶋 亮司

アマミアカハネハナカキキリ *Formosopyrrhona satoi* (HAYASHI) は、従来奄美大島および徳之島に分布することが知られていたが、筆者は沖縄本島で本種を採集したので、ここに報告しておく。



1 ♀, 沖縄本島国頭郡奥1号林道, 2. iv. 1978

奥1号林道最奥部に新しく切り開かれた斜面の伐採地で飛翔中のヒメクロトラをすくっていたところ、上緑の林中を縫うように飛翔していた個体を採集した。天候は快晴であった。

末筆ながら、発表を勧められた藤田宏氏ならびに写真撮影に御協力いただいた湯沢宣久氏に感謝申しあげる。

(〒462 名古屋市北区下飯田町 4-11)

トワダムモンメダカカミキリの北限記録

今坂 正一

トワダムモンメダカカミキリ *Stenhomalus lighti* GRESSITT の北限記録として、利尻島における採集例を報告しておく。従来の北限は札幌市周辺。

1 ex., 利尻岳, 28. vi. 1975, 今坂正一採集
花上にて採集したものである。

1975年6月26~28日における採集で本種の他に、ホクチチビハナ (1 ex., 鴛泊, 26. vi), チビハナ (2 exs., 利尻岳, 28. vi), シナノクロフ (1 ex., 鴛泊, 26. vi; 3 exs., 姫沼, 27. vi; 1 ex., 利尻岳, 28. vi), アカガネ (1 ex., 利尻岳, 28. vi), ヒゲナガモモプト (1 ♂, 利尻岳, 28. vi), ハンノアオ (1 ex., 利尻岳, 28. vi)

などのカミキリを採集しているが、チビハナ・シナノクロフ・ヒゲナガモモプト・ハンノアオの4種は利尻島初記録種と思われる。

(〒855 島原市白土町 1064)

沖縄本島における

カミキリ3種の生態について

小笠原 隆

1. ツマグロアメイロカミキリ

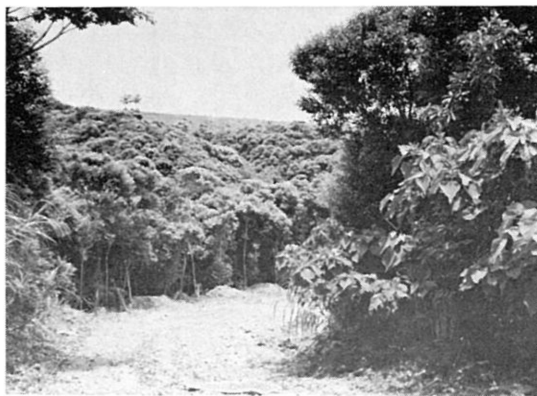
Pseudiphra apicale (SCHWARZER)

1 ex., 国頭村奥, 17. v. 1976; 13 exs., 国頭村辺土名, 20, 22. v. 1976; 7 exs., 国頭村辺土名, 22, 24. v. 1977

本種はこれまで花上にて稀に採集される以外、特に採集方法が知られていなかったが、筆者はアカメガシワの生葉に飛来するという生態を発見して、上記のように採集することができた。

本種が集まる木には、1) 林縁にあって直射日光が長時間当たらないこと、2) 背たけ1m程度の小木であること、3) 周辺のアカメガシワの花が散っているのに、その木だけは少し散り残っていること、など特定の条件があるようで、本種の来集を認めた木は、たくさんあるアカメガシワの中で僅かに3本であった。1976年に渡島した際には、辺土名の裏山にて2本の本種が集まるアカメガシワを見つけたが、翌年にはその2本はいずれも上記の条件を満たすことのできない状態となっており、1頭も見つけることができなかった。そこで、付近を丹念に探した結果、条件に合う1本のアカメガシワを見つけ、前年同様に本種の飛来を認めることができた。

1977年の例では、まず葉の表に飛来し、次に葉裏にまわって先端部まで進み、そこで静止していたが、1976年



ツマグロアメイロの多かったアカメガシワ (右側の低い木)
(沖縄本島辺土名)

の例では、一部の本種は同じ木の花にも来ており、花上で交尾中のももあった。しかし、この時でも多くは葉裏に静止しており、それも必ず1枚の葉に1頭だけしか見られなかった。

2. オキナワゴマフカミキリ

Mesosa pictipes GRESSITT

11♂♂ 3♀♀, 知念村知念, 21, 27. v. 1977

これまでではきわめて稀な種であったが、1977年にクロヨナの枯木に集まること判り多数採集された。主に樹幹や直径5 cm以上の太い枝の下面に静止しており、この点は石垣島の亜種 *yayeyamai* と同様である。Type-locality は名護であるが、その後得られている個体はほとんど知念村付近のものである。

3. ニジモンサビカミキリ

Pterolophia lateralis formosana SCHWARZER

2♀♀, 国頭村奥, 17~18. v. 1976; 1♂ 2♀♀, 那覇市末吉, 21. v. 1977; 20♂♂ 17♀♀, 国頭村辺野喜, 25~26 v. 1977

この種もきわめて稀な種であったが、テリハノブドウの枯づるに集まること判って多数が得られた。幼虫の食入部分が短かいため(10cm程度)、1本の枯づるにかなりの密度で入っているようである。1977年は本種の大発生年であったらしく、辺野喜を中心として知念、久手堅、末吉で相当の個体数が得られている。

(〒164 中野区東中野 5-9-7 脇屋巨方)

手賀沼でクビアカドウガネハナカミキリを採集

荒井 憲

クビアカドウガネハナカミキリ *Gaurotes (Carilia) atripennis* MATSUSHITA は西日本では平地~低山における採集例がよく知られているが、関東地方の平地~低山ではまだ数えるほどの記録しかない。筆者は千葉県の手賀沼で本種を採集しているため報告しておく。千葉県下としては柏市における記録^{*)}に次ぐものであろう。

3 exs., 千葉県東葛飾郡沼南町, 22. v. 1977

1週間後にも1頭を採集しているが、すべて赤紫色の *aureopurpurea* 型個体であった。

採集地は手賀沼の近くの平地で、畑の周りにあるクロマツ林と雑木林の境といった地点の、ガマズミ・ノイバラ花上で採集した。他のカミキリとしては、ミドリ・ツヤケシハナ・エグリトラが見られ、同年の6月12日にはクリの花上でアオカミキリも1頭得ている。

なお、標本は北川和広氏が保管している。

*) 昆野安彦(1971): 月刊むし, 7号, pp. 35~36

(〒270-11 我孫子市緑 1-6-41)

静岡県下における

クロツヤヒゲナガゴバネカミキリの記録

坪井 俊久

クロツヤヒゲナガゴバネカミキリ *Molorchus (Linomius) hattorii* OHBAYASHI は、佐渡ヶ島、福島県下(福島市外・檜枝岐他)、神奈川県登戸、長野県下(大町

市・戸台・高遠公園他)、岐阜県付知、京都府貴船山など本州各地で得られているが稀な種で、形態的にも後腿節の先端が約 $\frac{2}{3}$ にわたってふくらんでいる点など他の邦産 *Linomius* 亜属の *Molorchus* とはかなり異っている。

本種は静岡県下では現在までのところ、まったく記録がないようだが、筆者は天竜市内で1頭を得ているので、県下初記録として報告しておく。

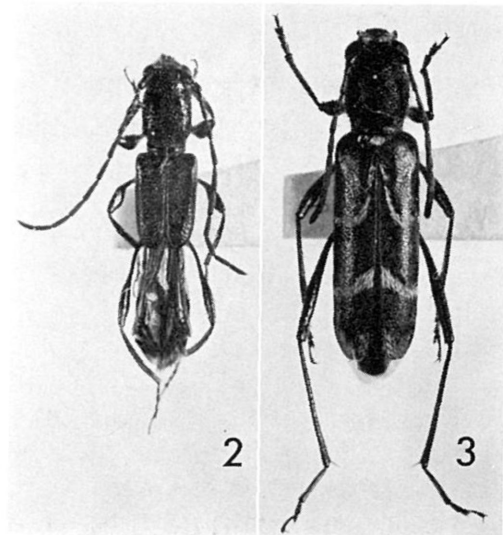


1♀, 静岡県天竜市二俣町, 27. iv. 1978

午前9時頃、天竜川河原のヤナギに巻きついていた枯づるのピーティングより得た。

標本は左触角がすこし折れているが(写真1)、これは後になって筆者の不注意で折ってしまったもので、採集時には完全品であった。

また、次の2種も静岡県下における採集例はごくわずかなものと思われるので、併わせて記録しておきたい。



○オダヒゲナガゴバネカミキリ (写真2)

Molorchus (Linomius) gracilis (HAYASHI)

2♀♀, 静岡県天竜市二俣町, 15. iv. 1978

○ヤマトシロオビトラカミキリ (写真3)

Kazuoclytus lautoides (HAYASHI)

1♀, 静岡県天竜市二俣町, 15. iv. 1978

いずれも、寺の境内のイロハカエデ花上より採集された。この花にはカミキリが多く、同時にミヤママルリハナ 17 exs., カエデヒゲナガゴバネ92♂♂46♀♀をはじめ、かなりの個体数が得られた。

末筆ながら、本種の同定の確認をしていただいた小笠原隆氏、県下での記録の有無を御教示下さった草間慶一博士、また、その際に一方的に御世話いただいた平井克男氏、そしてこの記録の発表を勧められた藤田宏氏に感謝したい。

(〒431-33 天竜市二俣町二俣 1342)

広島県でケブカマルクビカミキリを採集

山本 漢次

ケブカマルクビカミキリ *Atimia okayamensis* HAYASHI は、従来岡山・長野両県下のみで記録されていたが、筆者は広島県にて本種を採集しているので報告しておく。

2♂♂, 広島県豊田郡川尻町, 25. xi. 1977

1♂は切られてから1年近くたったと思われるネズミサシ *Juniperus rigida* SIEB. et ZUCC. の枯木の、樹皮下に作られた蛹室で、腹部を外側に向けて死んでいた個体であった。

編集部注) 広島県下における本種の採集例は、最近、「広島虫の会会報」第16号 p. 11に報告されている(小阪敏和他, 1977)。

(〒729-26 広島県豊田郡川尻町字川尻 558-6)

西表島でインガキイトヒゲカミキリを採集

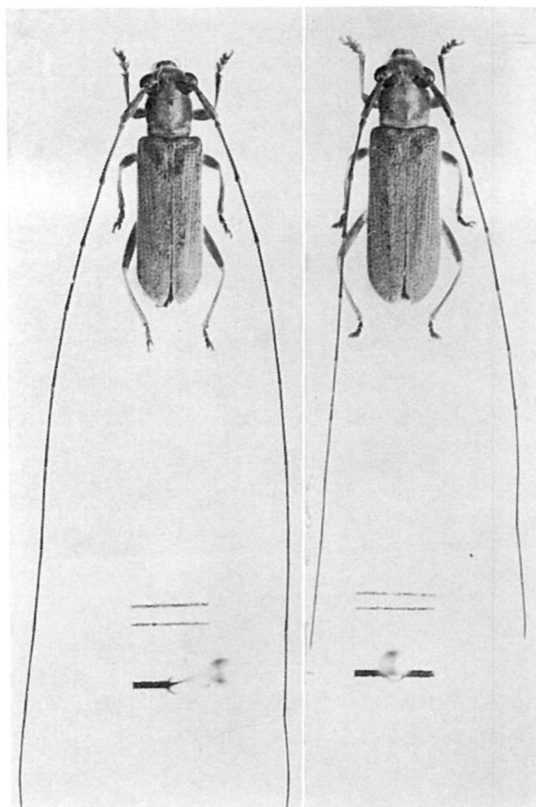
小倉 直樹

従来石垣島特産であったインガキイトヒゲカミキリ *Serixia ishigakiana* N. OHBAYASHI を西表島で採集しているので報告しておく。

1♂4♀♀, 西表島大富, 18. v. 1977

大富部落の裏手で、バリバリノキのひこばえに来ていたものである。

同島からは、同じ *Serixia* 属のイリオモテイトヒゲ *S. iriomoteana* が記載されているが、1965年6月26日にウシクの森で採集された1♂ (holotype) 以外に採集されていないようである。



インガキイトヒゲカミキリ (西表島大富産)

原記載^{*})によれば、両種の差は体の色、触角の長さ、前胸背・上唇の形が異なる点で区別されるとあるが、上記西表島産のインガキイトヒゲ1♂4♀♀と石垣島産の同種40数頭を比較検討していくと、この仲間は殺虫液に浸した時間によって色彩がかなり異なってくること、触角の比・長さ、前胸背・上唇の形もある程度の個体変異はあることより、記載文からはインガキイトヒゲとイリオモテイトヒゲの決定的な違いを見出すことはできなかった。

今回、西表島で採集した *Serixia* は、あるいはイリオモテイトヒゲとして記載されたものと同じものかも知れない。

^{*}) N. OHBAYASHI (1970): Bull. Jap. Ent. Aca., 5 (1), pp. 3~4

(〒114 北区王子本町 1-15-8)

御蔵島5月中旬のカミキリ

中村 俊彦

筆者は1977年5月16~19日に御蔵島を訪れる機会があり、島の周辺と限られた範囲の採集ではあったが、下記

のカミキリを得たので報告しておく。これらはすべて、すでに記録されている種である。

1. ヒメクロトラカミキリ*
Rhaphuma diminuta (BATES)
多数, シイの花上。
 2. アラカワシロヘリトラカミキリ
Anaglyptus arakawae KANO
多数, シイの花上。
 3. ハチジョウウスアヤカミキリ*
Bymetopia japonica heiana HAYASHI
少, メダケのピーティング。
 4. *Asaperda* sp. (シナノクロフカミキリに近似の種)
多数, ハチジョウグワの枯枝。
 5. ハネナシチビカミキリ
Palausybra hachijoensis HAYASHI
1 ex., 枯枝?のピーティング。
 6. オオキハネナシチビカミキリ
Pseudale izumikurana HAYASHI
3 exs., 枯枝?のピーティング。
 7. ハスオビヒゲナガカミキリ
Cleptometopus bimaculatus (BATES)
1 ex.
 8. アトモンサビカミキリ*
Pterolophia granulata (MOTSCHULSKY)
少, ピーティング。
 9. ナカジロサビカミキリ
Pterolophia jugosa (BATES)
1 ex.
 10. トカラヤハズカミキリ*
Uraecha gilva YOKOYAMA
2♂♂ 1♀, タブの新しい枯枝。
 11. オキノエラブコブヒゲカミキリ
Rhodopina okinoerabuana komiyai HAYASHI
1♂, 燈火
 12. ドイカミキリ*
Doius divaricatus (BATES)
多数, ヤツデ・ミズキの枯枝。
 13. シラホシカミキリ
Glenea relecta BATES
多数, ツタを後食。
 14. リュウキュウルリボシカミキリ
Glenea chlorospila GAHAN f. *hachijonis*
多数, ツタを後食。
- 以上14種であるが, 5月上旬の三宅島***)と共通するものは5種(*印)である。シイの花は満開で, トラカミキリの2種はすべてこれより採集した。 *Asaperda* sp.

はハチジョウグワの枯枝より得られたが, 採集された所は比較的限られていた。

***) 藤田・小笠原 (1977): ELYTRA, 5(1), pp. 19~20
(〒175 板橋区高島平 2-28-1-704)

石垣島にて採集した

ピロウドカミキリ属の1種について

岩橋 正

石垣島オモト岳において, 今まで同島より知られていなかったと思われる *Acalolepta* を採集したので報告しておきたい。

1♀, 石垣島オモト岳, 11. vi. 1977, 岩橋正採集
体長21mm. 一見, 台湾の *A. formosana* BREUNING
によく似ている。



同島からはインガキピロウドカミキリ *Acalolepta ishigakiana* BREUNING et VILLIERSが記載されている(現在のところ, Type標本の1♂しか得られていない)が, この種は原記載*)によると体長が12.5mmと小さく, その他の特徴や写真から判断するとアナバネヒゲナガに近いもので, 今回得られた個体とは別なものと思われる。

オモト岳中腹で, 雨天の中, 広葉樹の枯葉をピーティングして採集した。カミキリ屋は一般に石垣島へは4~5月に多く訪れているようだが, こ

の *Acalolepta* は6月以降に発生するため今まで発見されなかったのかもしれない。

*) BREUNING, S. & VILLIERS, A. (1973): Bull. Soc. Ent. France, 78(1/2), pp. 49~50
(〒830 久留米市南町花園 11-4)

ミヤマケシカミキリの分布追加記録

草間 慶一・多比良 嘉晃

筆者らは本誌前号 (Vol. 5, No. 2, 1977) でミヤマケシカミキリ *Exocentrus montilineatus* KUSAMA et TAHIRA を記載した*)が, この種の採集記録として以下があるので追加報告しておきたい。

産地の追加として:

1♂1♀, 長崎県対馬有明山山頂付近, 28. vii. 1975, 高橋和弘採集; 1♀, 福岡県宝満山, 13. vii. 1968, 入江平吉採集; 4♂♂1♀, 宝満山, 8. vi. 1969, 入江採集

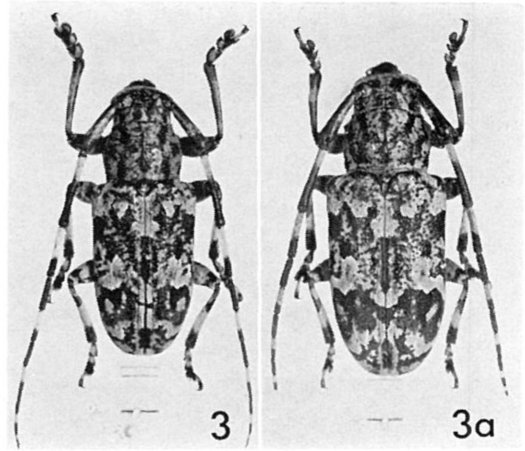
採集記録の追加として:

2♂♂3♀♀, 大分県久住山, 24. vii. 1977; 3♂♂3♀♀, 宮崎県白岩山, 25. vii. 1974, いずれも入江採集

これらの記録は前号に掲載する予定であったが, 初校の刷りあがり後に御教示いただいたので, 出版期日との関係上入れることができなかつたものである。ここに改めて入江, 高橋両氏に厚く感謝申しあげたい。

*) K. KUSAMA, Y. TAHIRA (1977): ELYTRA, 5 (2), pp. 39~42

(〒422 静岡市大谷 836 静岡大学理学部)



5♂♂4♀♀

枯枝のビーティングおよびフクギの倒木にいたものを採集した。体型・上翅の斑紋共インガキゴマフ *Mesosa yonaguni subkonoi* に似るが, 前肢が長く, この点ではアシナゴマフ *M. praelongipes* に近いような印象を受ける。すなわち上記2種の間のようなカミキリで, きわめて興味深い。♂の腹部の先端は *M. praelongipes* のようには突出しておらず, 筆者は見えていないが池間島で得られた *Mesosa* sp. (*M. praelongipes* に近く, ♀の腹部先端は突出しているという)とも異なるように思われる。

3. アトモンチビカミキリ

Sybra baculina miyakoana HAYASHI

4♂♂1♀, 枯枝のビーティングで得られた。

4. フタモンサビカミキリ

Ropica caenosa (MATSUSHITA)

2♂♂1♀

5. イマサカドウボソカミキリ (写真2)

Pothyne imasakai HAYASHI

1 ex., つる性植物の枯れた部分のビーティングで得られた。

ごく最近記載された種で, 原産地の与那国島以外では石垣島の北部でしか採集されていない(石垣島は未発表)。上記の1 ex. は体長10mmと著しく小型の個体である。

原産地の与那国島産および石垣島・伊良部島産のすべての個体が, 原記載とは色彩・触角末端節の長さが異なるが, 他にはまったく *imasakai* の記載に該当するような *Pothyne* はいないので, 現時点では *imasakai* と同定しておく。

末筆ながら, 5. の種の同定には高桑正敏氏より多くの御教示をいただいた。明記して深謝したい。

(〒114 北区王子本町 1-15-8)

伊良部島のカミキリ

小倉 直樹

筆者は1977年2月中旬より6月下旬まで南西諸島の各島嶼を調査する機会を得たが, その際, 宮古列島の伊良部島において興味深いカミキリを採集しているので報告しておく。

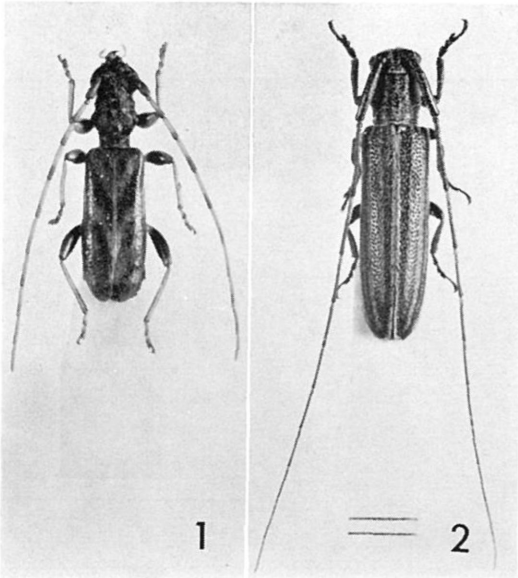
伊良部島は起伏の少ない平坦な小島で, 採集は比較的林の残っている佐和田付近で行なった。採集したカミキリは次の5種で, すべて1977年6月4日に得た。

1. タイワンメダカカミキリ (写真1)

Stenhomalus taiwanus MATSUSHITA

1 ex., 著しく黒化の傾向を示している。

2. *Mesosa* sp. (写真3, ♀; 3a, ♀)



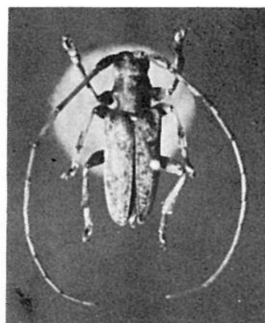
対馬でヒメビロウドカミキリを採集

藤井 心平

ヒメビロウドカミキリ *Acalolepta degener* (BATES) は、本州・九州で局所的に分布していることが知られているが、対馬における記録はなかったものと思われる。

筆者は下記のように、本種を対馬から採集しているので報告しておきたい。

- 1♂, 長崎県対馬有明山, 26. vii. 1975, 藤井心平採集
- 1♂, " 佐須奈, 5. vii. 1976, 中田隆昭採集
- 1♀, " " , 5. vii. 1976, 藤井心平採集



有明山では、灌木上に静止していた個体を採集。佐須奈では、クリ畑で花を叩いていたところ、樹から頭上へ落下したものと、クリ林周辺のスキの茎を這っていたものを採集した。いずれも曇りの日であった。

朝鮮半島、大陸産の *A. degeneroides* (BREUNING) との関係が興味深い。

(〒577 東大阪市永和 2-23-18 皆川方)

シナノムナクボカミキリの新産地

山上 明

シナノムナクボカミキリ *Arhopalus tobirensis* HAYASHI は1968年に林匠夫博士により記載された種であるが、その分布は極限されており、記載以後10年間、原産地の長野県温泉～犀峠付近以外での採集例はまったく知られていなかった。

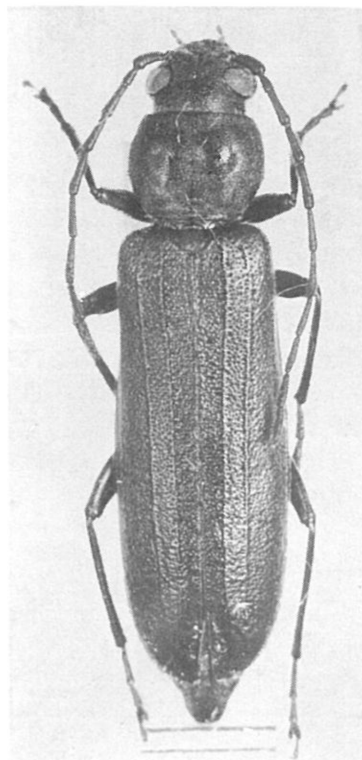
筆者は神奈川県ほうきさわの西丹沢箒沢にて採集された本種を所持しているので報告しておきたい。

- 1♀, 神奈川県西丹沢箒沢, 2. viii. 1975,

大類正久採集

この個体は、神奈川県立城内高校生物部の合宿中に燈火に飛来したものであり、同時にサビカミキリ *Arhopalus rusticus* (LINNE) も3頭採集されている。犀峠で最初に本種を採集した早川広文氏によれば、犀峠付近においてもサビとシナノムナクボは同じ所で採集できるといふ。

なお、箒沢付近はすでに自然林がほぼ伐採しつくされ、本種のホストと思われるモミ、ツガなどは見当たらないが、周囲にある標高1200m以上の尾根部にはブナを主体とした自然林がかなり残されており、一部にモミ林



も見られる。

末筆ながら、標本を御提供いただいた湘南自然センターの大類正久先生および同定その他に御尽力いただいた藤田宏氏にお礼申し上げる。

(〒251 藤沢市藤沢 2524)

~~~~~  
今号はスペースがなくなってしまったので、編集後記はお休みとします。2年前、16ページのELYTRAを出す予算しかなかった時のことを思い返すと、感慨無量です。(藤田 宏)

ELYTRA Vol. 6, No. 1

昭和53年8月25日 印刷

昭和53年8月30日 発行

編集者 藤田 宏

発行者 草間 慶一

発行所 日本鞘翅目学会

Japanese Society  
of Coleopterology

東京都台東区東上野4-26-8

福田惣一方 (〒110)

c/o, FUKUDA, 4-26-8,  
Higashi-Ueno, Taitō-ku,  
Tōkyō Japan

印刷 徳大和印刷

- 39号(1974年6月): 徳之島のカミキリ (杉野広一・高桑正敏)  
 41号( // 8月): 初心者のためのカミキリ同定法(1)  
 42号( // 9月): 京都付近のコブヤハズカミキリ類 (水野弘造/そばつぶ山コブヤハズタニグチ歌(上)(高桑)  
 43号( // 10月): アルバムニューフェイス・カミキリ(1)/  
 そばつぶ山コブヤハズタニグチ歌(下)  
 44号( // 11月): アルバムニューフェイス・カミキリ(2)  
 45号( // 12月): アルバムニューフェイス・カミキリ(3)/  
 初心者のためのカミキリ同定法(2)  
 46号(1975年1月): むしやの広場 (カミキリ~草間慶一, 甲虫  
 中根猛彦) / 香川県象頭山の甲虫類(1)(佐藤正昭) / 初心者  
 のためのカミキリ同定法(3)/1973年7月・北海道で採集したカ  
 ミキリから(藤田宏)  
 47号( // 2月): オサ掘り苦戦記Ⅲその1 (小宮次郎) / 香  
 川県象頭山の甲虫(2)  
 48号( // 3月): アルバムニューフェイス・カミキリ(4)/  
 日本のコブヤハズ類の問題点(1) (高桑) / オサ掘り苦戦記Ⅲそ  
 の2 / 香川県象頭山の甲虫類(3)  
 49号( // 4月): オサ掘り苦戦記Ⅲその3 / 香川県象頭山の  
 甲虫類(4)  
 50号( // 5月): 口永良部島のカミキリ (伊藤淳・守屋健  
 次) / 香川県象頭山の甲虫類(5)  
 51号( // 6月): 香川県象頭山の甲虫類(6) / 「カミキリム  
 シ科の観察と飼育」からカミキリムシ科の生態若干のノート(早  
 川広文)  
 52号( // 7月): 香川県象頭山の甲虫類(7)  
 54号( // 9月): 香川県象頭山の甲虫類(8) / シロアラゲは  
 カラスザンショウを食う! (高桑)  
 55号( // 10月): 日本のコブヤハズ類の問題点(2) / 香川  
 県象頭山の甲虫類(9)  
 56号( // 11月): 香川県象頭山の甲虫類(10)  
 57号( // 12月): 香川県象頭山の甲虫類(11)  
 58号(1976年1月): コブヤハズカミキリ5種 (小出雄一) / は  
 ちじょう・とびいろ・はねなしちび <伊豆八丈島採集紀行>  
 (高桑・藤田) / 京都・芦生演習林の甲虫相(1) (水野弘造)  
 59号( // 2月): トカラ列島のカミキリ(入江平吉・草間慶  
 一) / むしやの広場 (カミキリ界~藤田宏)  
 60号( // 3月): 新春座談会・カミキリの珍品を語る(上)  
 (草間, 露木, 中村, 小林, 藤田, 高桑) / 京都・芦生演習林の  
 甲虫相(2) / 香川県象頭山の甲虫類(12)  
 61号( // 4月) 新春座談会・カミキリの珍品を語る(下)  
 62号( // 5月): 日本のコブヤハズ類の問題点(3)  
 64号( // 7月): 伊豆・新島のコガネムシについて(1)(石  
 田正明・伊藤敏仁)  
 65号( // 8月): 京都・芦生演習林の甲虫相(3)  
 66号( // 9月): 伊豆・新島のコガネムシ主科について(Ⅱ)  
 67号) // 10月): 京都・芦生演習林の甲虫相(4)  
 68号( // 11月, 小笠原特集号!): 小笠原の甲虫相 (黒沢良  
 彦) / 小笠原のカミキリ相(藤田宏)  
 69号( // 12月): 小笠原の甲虫相(2) (その構成と起源)  
 70号(1977年1月): 台湾採集紀行 (テナガコガネとミヤマオニ  
 カミキリ) (中田隆昭) / 京都・芦生演習林の甲虫相(5)  
 72号( // 3月): 四国剣山周辺のカミキリ(上)(小笠原隆) /  
 京都・芦生演習林の甲虫相(6)  
 73号( // 4月): 楓の木の下で(ヒラヤマコブハナカミキリ  
 の頃) (藤田宏) / 京都・芦生演習林の甲虫相(7)  
 74号( // 5月): 四国剣山周辺のカミキリ(下)  
 76号( // 7月): 晩夏の未曾谷採集記(タニグチコブヤハズ  
 カミキリの未記録地を歩く)(穂積俊文)  
 77号( // 8月): 日本のコブヤハズ類の問題点(4) / タム  
 シ雑記Ⅰ (秋山黄洋)  
 78号( // 9月): 在台湾找天牛(台湾カミキリ採集紀行1)  
 (藤田宏・新里達也)  
 79号( // 10月): カミキリ屋座談会 (アカムネハナを語る  
 !)(小田, 小倉, 小林, 小笠原, 露木, 猪又, 高桑, 藤田) / 在台湾找天  
 牛(2) / 採集地案内(いわき市江田)(大桃定洋)  
 80号( // 11月): 在台湾找天牛(3)  
 81号( // 12月): 在台湾找天牛(4)  
 83号(1978年1月): むしやの広場(カミキリ界~高桑正敏) / 京  
 都・芦生演習林の甲虫相(8)  
 86号( // 5月): 日本のコブヤハズ類の問題点(5) / 京都・  
 芦生演習林の甲虫相(9)  
 87号( // 6月): カミキリ採集のハイ・テクニック(1)(藤  
 田宏)  
 88号( // 7月): 箱根のカミキリ(上)(山上明) / カミキリ採  
 集のハイ・テクニック(2) / 新・離島の昆虫シリーズ(与那国  
 島)(小倉直樹)  
 89号( // 8月): 箱根のカミキリ(下) / カミキリ採集のハ  
 イ・テクニック(3)  
 90号( // 9月): カミキリ採集のハイ・テクニック(4) /  
 新・離島の昆虫シリーズ(西表島)

4年前からの甲虫関係タイトルをあげてみました。こ  
 のうち特に68号(小笠原特集号)は在庫が少なく、売り  
 切れ間近かです。お早めにお求め下さい。

また、創刊号からのバックナンバーも受けつけていま  
 す(但し、2~11と14号は「復刻版」)。

〒164 中野区中野郵便局私書箱10号, 月刊むし社  
 振替口座 東京159262

☎ 編集部 03(316)1462 (藤田 宏, 油井秀臣)

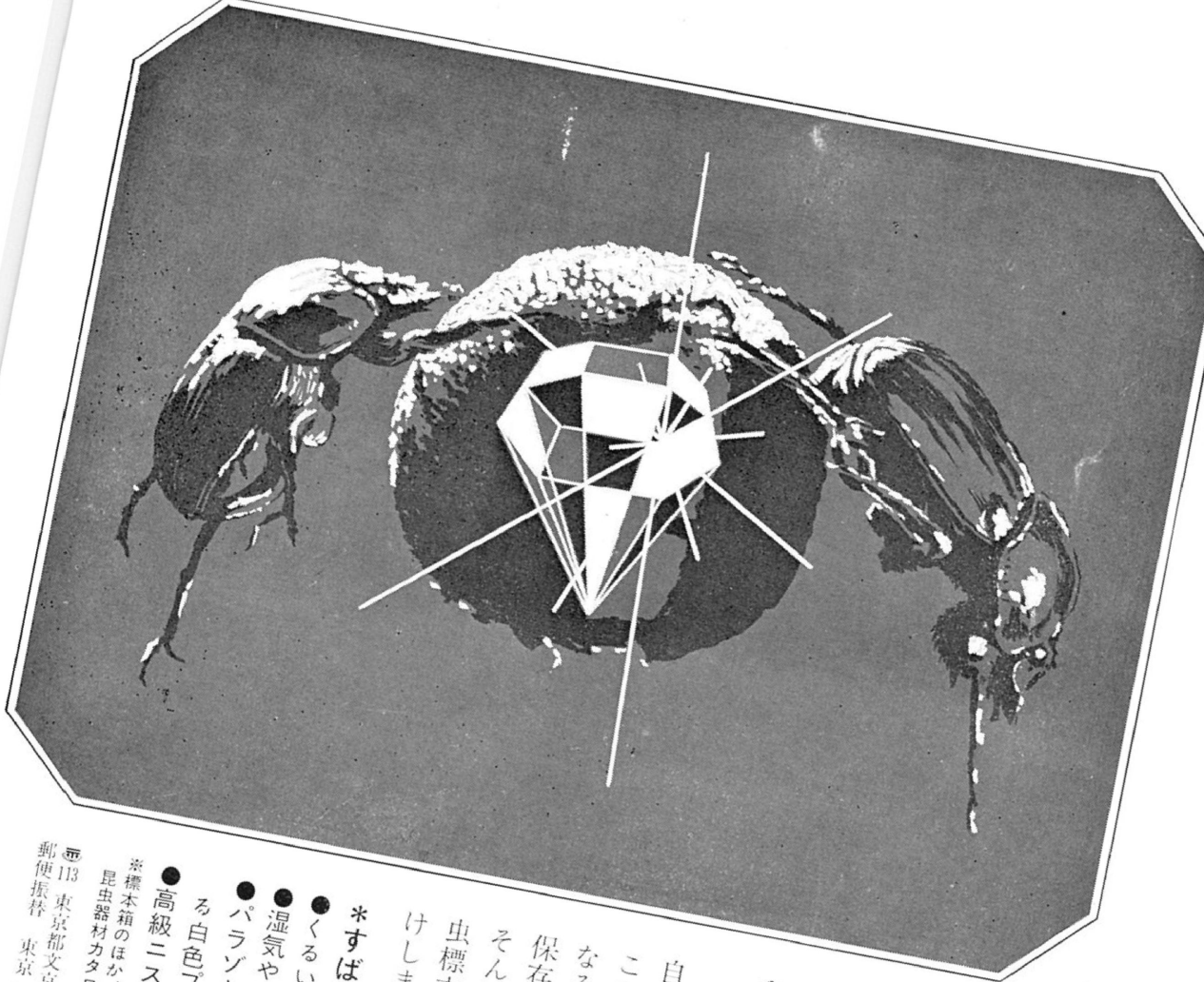
67号以降一定価550円(送料30円)

3ヶ月予約.....1400円  
 6ヶ月 // .....2800円  
 12ヶ月 // .....5500円

昆虫専門月刊誌



月刊むし



# 真珠より美しく ダイヤより価値がある 大切な標本を永久に守る 『ドイツ型標本箱』

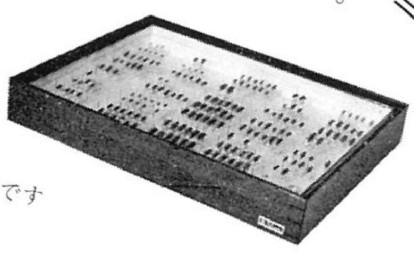
自然はますます大切なものとなってきました。この不思議な世界を解明する貴重な手掛りとなる昆虫標本は、価値あるものとして永久に保存したいものです。そんな願いをこめて、タツミ製作所では、昆虫標本の保存に最適なドイツ型標本箱をお届けします。

- \*すばらしい特長**
- くるいのこない良質な木材を使用
  - 湿気や乾燥にも強い独特の構造
  - パラゾールにも変化せず、標本がより美しく見える白色プラスチック底
  - 高級ニス塗装の丈夫で美しい仕上げ

※標本箱のほか、展翅板など昆虫標本作成に必要な器材もあります。昆虫器材カタログ、昆虫関係輸入図書・委託図書リストもあります。

〒113 東京都文京区湯島二丁目二二番五  
郵便振替 東京一三三四七九

（有）タツミ製作所



大型 5,000円 (送料別)  
中型 4,500円 (送料別)

この価格は昭和52年11月現在のものです



株式会社

# 志賀昆虫普及社

〒110 東京都渋谷区渋谷1丁目7番6号(宮益坂上)  
TEL. 03(409)6401(代) 振替/東京21129



- 新製品/最上質ステンレス製シガ有頭昆虫針  
0. 1. 2. 3. 4. 5号発売中
- 専門用カタログあり 要郵券 140円
- 営業種目 採集瓶・採集箱・幼虫飼乱・採集バンド・展翅板類・飼育用具・顕微鏡・標本箱各種・三角ケース・捕虫網・標本瓶・植物採集用具・殺虫管・プレパラート製作用具・名箋・ピンセット・平均台・液浸用管瓶・ルーペ類・コルク類・その他

営業時間：9時～18時

休日：毎日曜，祝祭日，10月1日

**The following Institutes and Museums are received the ELYTRA**

The American Museum of Natural History

Central Park, West at 79th St. New York, N.Y. 10024, USA

Smithsonian Institution, Museum of Natural History

Constitution Ave at 10th St. Washington D.C., 20560, USA

Department of Entomology, University of California

Berkeley, California, USA

Department of Entomology, Science Museum, California Academy of Science

Golden Gate Park, San Francisco, USA

Department of Entomology, Bishop Museum

Honolulu, Hawaii, USA

Division of Entomology, Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization

Canberra, Australia

British Museum of Natural History

Cromwell Rd., London, S.W. 7, United Kingdom

Muséum National d'Histoire Naturelle

55, rue Cuvier (5<sup>e</sup>) Paris, France

Zoological Museum, University of Moscou

6 Ulitsa Hevzena Moscou, USSR

Zoological Museum, Academy of Science

Leningrad, USSR

## 日本鞘翅目学会会則

1. 会名：本会は日本鞘翅目学会〔The Japanese Society of Coleopterology〕と称する。
2. 目的：本会は甲虫研究の進展を計り、あわせて甲虫研究者相互の親睦を深めることを目的とする。
3. 総会：年1回の総会を開くものとする。
4. 活動：本会は次の活動を行なう。
  - a. 機関誌「ELYTRA」の発行。
  - b. 第2会誌「さやばね」の発行。
  - c. その他、甲虫に関する臨時出版物の発行。
  - d. 年1回の総会。
  - e. その他、必要と思われる一切の活動。
5. 会員：本会の会員は正会員・維持会員および特別会員からなり、正会員・維持会員は所定の会費を納めるものとする。
6. 役員：本会には会長ならびに若干名の役員をおくものとする。
7. 会計：会計年度は1ヵ年とし、会計報告を行なう。
8. 入会：本会に入会を希望するものは、指定の会員カードに住所・氏名等を記入し、入会金に1年以上の会費を添え、事務局に申し込むものとする。
9. 会則の変更：上記会則の変更は総会にて承認される。

## 細 則

- A. 役員は当分の間、下記とする。役員は年2回行なわれる ELYTRA 掲載の原著論文の審査、および会務の決定・運営にあたる。

草間慶一（会長）、衣笠恵士（副会長）、露木繁雄、小宮次郎、中村俊彦、福田惣一、大木 裕、高桑正敏、藤田 宏、穂積俊文（名古屋支部長）、佐藤正孝（同、副支部長）、井野川重則

- B. 入会金および年会費は下記とする。（前納）

|       | 1974~1976年度 | 1977年度以降 |                                                       |
|-------|-------------|----------|-------------------------------------------------------|
| 入 会 金 | 500         | 500      | 注1) 入会金は入会の年次のみ必要。                                    |
| 年度費   | 正会員         | 2,000    | 注2) 維持会員は一口につき ¥5,000<br>で、会誌は2部ずつ送付される。              |
|       | 維持会員        | 5,000    | 注3) バックナンバーの誌代は年会費<br>の金額に準ずる。                        |
|       |             |          | 一般 3,000<br>大学生および大学受験生 2,000<br>中・高校生 1,000<br>5,000 |

- C. 本会の事務局および編集局は当分の間、下記とする。

○事務局（入会の申し込み、会費の納入、バックナンバーの申し込み、その他事務一切）

〒110 台東区東上野4-26-8 福田惣一方

○編集局（投稿および投稿に関する問い合わせなど、「ELYTRA」・「さやばね」関係一切）

〒110 台東区台東2-29-6 藤田 宏方

○名古屋支部（名古屋支部会に関する問い合わせ一切）

〒453 名古屋市中村区塩池町1-10-15

The ELYTRA welcomes original articles dealing with various aspects of Coleopterology. The bulletin is published semiannually by the Japanese Society of Coleopterology. We are willing to exchange with any publication relating to the research and description of Coleoptera.

## The Japanese Society of Coleopterology

Keiichi KUSAMA, president

Jiro KOMIYA,

Hiroshi OOKI,

Toshifumi HOZUMI,

Keiji KINUGASA, vice-president

Toshihiko NAKAMURA,

Masatoshi TAKAKUWA,

Masataka SATÔ,

Shigeo TSUYUKI,

Sôichi FUKUDA,

Hiroshi FUJITA, editors.

Shigenori INOKAWA

All inquiries concerning the ELYTRA should be addressed to: Sôichi FUKUDA c/o, 4 chome. 26-8, Higashi-ueno, Taito-ku, Tokyo, 110, Japan.

ELYTRA Vol. 6 No. 1 目次

原著

大平仁夫 (OHIRA, H.): クロヘリツヤコメツキについて  
(Notes on *Chiagosinus delauneyi fuscomarginatus* (LEWIS, 1896) (Coleoptera: Elateridae))..... 1

高桑正敏 (TAKAKUWA, M.): 阿武隈におけるヤクハナノミ属1新種の発見  
(Occurrence of a New Species of the Genus *Yakuhananomia* KONO (Mordellidae) in Central Honshu, Japan)..... 5

草間慶一・多比良嘉晃 (KUSAMA, K. & TAHIRA, Y.): 日本およびその近隣のアラゲケシカミキリ属:(2)台湾産種の総説  
(The Genus *Exocentrus* MULSANT of Japan and its Adjacent Regions: (2) The Revision of Taiwanese Species ..... 9

窪木幹夫 (KUBOKI, M.): 四国産ヒメハナカミキリ属の1新種  
(A New Species of the Genus *Pidonia* from Shikoku, Japan (Coleoptera, Cerambycidae)).....33

小田 義広: ヒメキノコゴミムシの北限記録.....36  
 深町 宗通: ナガサキクビナゴミムシを佐賀県で採集.....36  
 井上 寿: 北海道におけるキバナガミズギワゴミムシの採集記録.....36  
 井上 寿: 北海道におけるトビミズギワゴミムシ亜属2種の生態について.....36  
 藤田 宏: フチトリヒメヒラタタマムシの本州における採集例.....37  
 石田 正明: ハコネアシナガコガネを伊豆・天城峠で採る.....37  
 今坂 正一: 利尻島6月下旬のハムシ.....38  
 豊嶋 亮司: 沖縄本島でアマミアカハネハナカミキリを採集.....39  
 今坂 正一: トワダムモンメダカカミキリの北限記録.....39  
 小笠原 隆: 沖縄本島におけるカミキリ3種の生態について.....39  
 荒井 憲: 手賀沼でクビアカドウガネハナカミキリを採集.....40  
 坪井 俊久: 静岡県下におけるクロツヤヒゲナガコバネカミキリの記録.....40  
 山本 漢次: 広島県でケブカマルクビカミキリを採集.....41  
 小倉 直樹: 西表島でインガキイトヒゲカミキリを採集.....41  
 中村 俊彦: 御蔵島5月中旬のカミキリ.....41  
 岩橋 正: 石垣島にて採集したビロウドカミキリ属の1種について.....42  
 草間 慶一・多比良嘉晃: ミヤマケンカミキリの分布追加記録.....42  
 小倉 直樹: 伊良部島のカミキリ.....43  
 藤井 心平: 対馬でヒメビロウドカミキリを採集.....44  
 山上 明: シナムムナクボカミキリの新産地.....44

草間 慶一: 1971年以降の台湾産カミキリの文献(3) ..... 3  
 深町 宗通: 「南西諸島におけるアトキリゴミムシ類の知見」の訂正..... 8

編集後記.....44

表紙 (オオヒゲブトハナムグリ)

Cover — *Lichnante splendens* (YAWATA) (Scarabaeidae)